



鶴翔 同窓会だより

荘内中学校
鶴岡第一高等学校
鶴岡南高等学校

鶴岡中学校
鶴岡高等学校

第 62 号

発行 鶴翔同窓会
〒997-0037 山形県鶴岡市若葉町26-31
山形県立鶴岡南高等学校内

電話 (0235) 22 0061

印刷 鶴岡印刷株式会社

2021年

令和3年11月1日発行



現校舎の
ジオラマは
現在製作中。

現校舎での最後の南高祭

『今、燦く～僕らの素晴らしい
日々は奪えない～』

『校歌&応援歌の木彫り製作』

南高祭実行委員会・生徒会で発案。

1人1文字

3年生2名が書いた歌詞の文字を、全校生徒600名が
2週間で彫り上げた。技能員さん、市内の木材会社・
建築会社の協力のもと完成した。



中高一貫校開校まであと3年「南高の今」を何としても残したい

今年の南高祭の目玉『全校一大アート・校歌&応援歌の木彫り製作』



→ 鶴岡中学校第二校歌



→ 鶴岡南高等学校校歌

それぞれ 2×3m 鶴翔会館渡り廊下側入口に掲示



同窓会会長挨拶

第七代会長 齋藤 正 志 (昭44卒・76回)

日頃より、鶴翔同窓会並びに鶴岡南高校へのご支援ご協力に感謝申し上げます。新型コロナウイルスの蔓延は終息が見えず、息苦しい生活が続いております。この非常事態の中、大学受験の成績は例年通り素晴らしい結果だったと報告を受けております。そして令和2年度の卒業式並びに令和3年度の入学式は、昨年同様規模を縮小しながらも無事終了致しました。母校においては、この時局の対応に苦慮している事と推察致します。同窓会の皆様におかれましても、無事にこの難局を乗り切って頂きたいと思っております。

鶴翔同窓会の今年度の方針と致しましては、昨年と同様に理事会は書面会議の形で実施し、総会はホームページ上で承認を頂く形にさせて頂きました。

また、創立133周年記念行事については、記念式典と記念講演のみ実施し、祝賀会は中止致しました。次年度こそは祝賀会も行える事を祈念致します。

母校は今、コロナ禍とは別の時代の大波に翻弄されておりますが、通信制の閉課程は予定通り進められております。また、中高一貫校への統合問題も順調に準備が進んでいるとの事であります。同窓会としても北高同窓会との統合の準備に入っていかなければなりません。統合準備室を立ち上げ、打ち合わせを進めていくところであります。

課題は山積しておりますが、役員・事務局員ともども立ち向かう所存でございますので、ご協力をお願い致します。

以下に、創立133年の記念式典の会長挨拶の一部を紹介させて頂きます。

本校の歴史は、明治21年の私立荘内中学校の創設以来、今年で133周年を迎えるに至りました。この間幾多の変遷を経て、現在は山形県立鶴岡南高等学校として存在しております。

ここで、近年発刊された一冊の本を紹介致します。『名門高校100』という本であり、副題として、「時代をリードする人物はここから巣立った」とあります。卒業生で活躍された諸先輩並びに現在頑張っている人達まで、幅広く紹介しています。平成の卒業生では、分子生物学の東山哲也・名大教授、フランス法の齋藤哲志・東大教授などが記載されています。

この本にも紹介されている様に、母校は創設以来133年間で卒業生は延べ3万数千人に及んでおりますが、多くの卒業生が多岐にわたる分野で活躍されています。在校生の皆さんも、今後諸先輩同様に活躍して下さる事を期待致します。

たとえ新校に移行されても、鶴岡南高校の歴史と伝統は形を変えながらも脈々と引き継がれて行くはずであり、より輝かしい学校を目指して行なって欲しいと思います。

この様に、生徒さん達への期待を述べさせて頂きました。最後になりますが、このコロナ禍の中、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り致します。会長挨拶とさせて頂きます。

コロナ禍での学校の対応



令和3年度の新型コロナウイルス感染症拡大防止については、県教育委員会の通知に基づいて対応して参りました。通常の学校生活においては、「新しい生活様式」を踏まえた基本的な感染防止策について、生徒に事あるごとにその徹底を促しました。

日常生活

マスク着用、教室の換気、手洗い・手指消毒を徹底し、また昼食時は対面での食事や会話を控えることについて周知しました。授業終了後には、各自が準備したティッシュ等に消毒液を含



合唱もマスクして



授業が終わったら、各自で消毒

授 業

4月下旬、鶴岡でのクラスター発生に伴い、県教委の指導により4月29日、30日は自宅学習となりました。この間複数の教科で授業や課題の指示等をオンラインで行い、その有効性や問題の把握等に努めました。また、コロナ禍における学習保障の観点から、オンラインで教員相互の研究授業を行い、いざという場合への対応に備えました。

ませ、自分が使用した机や椅子等の消毒を実施することとしました。



校長挨拶

第三十五代校長 坂尾 聡 (昭55卒・87回)

鶴翔同窓会の皆様には、平素より本校の教育活動の推進に、物心両面から温かいご支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。例年であれば総会や支部会等でご挨拶申し上げるところであります。昨年からそれがままならず大変心苦しく思っております。

7月1日に荘銀タクト鶴岡を会場として開催された創立133周年記念式典では、齋藤正志同窓会長から、在校生と教職員に心温まるご祝辞をいただきました。式典に続く記念講演では、東北大学副学長の山口昌弘教授(本校昭和56年卒)から「量子の世界に魅せられて」と題するご講演をいただき、講演後は生徒から多くの質問があり、大変充実した時間となりました。

昨年度の進学実績については、国公立大学では、東京大学、一橋大学、東京工業大学、東北大学などの難関大学をはじめ、全国各地の大学に136名、私立大学に延べ288名が合格しております。近年の好調な流れを引き継ぎ素晴らしい結果を残してくれました。

今年の北信越インターハイには、アーチェリー男子団体と女子団体、卓球女子ダブルスの2チーム、競泳女子1名が出場しました。全国高校総合文化祭和歌山大会には科学部が出演、吹奏楽研究会と音楽部は東北大会の出演が決定しております。これからの「文武両道」の伝統を

大切にして、生徒の育成にあたってまいりたいと考えております。

コロナ禍で学習活動、部活動が十分に行われない中にあっても、南高生は落ち着いて冷静に対応し、知恵を出し合いながら乗り越えております。生徒の理性的な立振る舞いに、133年の伝統の力を見い出すことができたと思っております。本校通信制の課程は、令和4年3月末で、73年の歴史を閉じることになります。本課程が果たしてきた庄内地区の通信教育の役割は、令和4年度から山形県立庄内総合高等学校に新設される通信制に引き継ぐこととなります。本校通信制の良き伝統が、新しい理念を持った庄内総合高等学校に引き継がれ、新たな時代の多様な教育的要請に応える学舎として、いつまでも輝き続けることを願っております。

今後も、鶴岡南高校のさらなる発展のために尽力してまいりますので、同窓会の皆様方には、母校の教育振興のため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

とともに、鶴翔同窓会のますますのご発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



学校行事等



入学式

●入学式 4月9日体育館で新入生とその保護者1名に限定し、三密を回避して行いました。

●球技大会 6月22日、23日に体育館や剣道場の換気を徹底して予定どおり実施しました。応援については声出しの禁止、拍手のみとし、競技時以外はマスク着用、こまめな手指消毒を行うことでの開催としました。

●南高祭 7月21日、22日に「今、燦く僕らの素晴らしい日々は奪えない」のテーマの下で実施しました。コロナに加え熱中症にも配慮しながら、創意工夫を凝らしての企画運営を行い、クラスの団結力・仲間との絆を深めました。

部活動

●高校総体 4月下旬に発生した鶴岡でのコロナ感染を受け、田川地区のみ5月上旬まで部活動禁止、地区総体は1週間程度の延期となりました。県総体については、2週間前からの検温を実施する等、感染対策を万全に行い予定どおり行われました。大会直前まで遠征や他校との練習試合も制約される中で、選手の心身の健康管理を維持することが困難でした。しかし、このような状況でも3年生を中心にチームをまとめ、アーチェリー男女団体・個人卓球女子ダブルス、水泳がインターハイ出場、陸上が東北大会出場を果たしました。

文化部では、科学部が全国高総文祭に、吹奏楽研究会と音楽部が東北大会への出場を果たしております。



球技大会

「量子の世界に魅せられて」



東北大学副学長《教育改革国際戦略担当》

山口 昌 弘 氏

(昭56卒・88回)

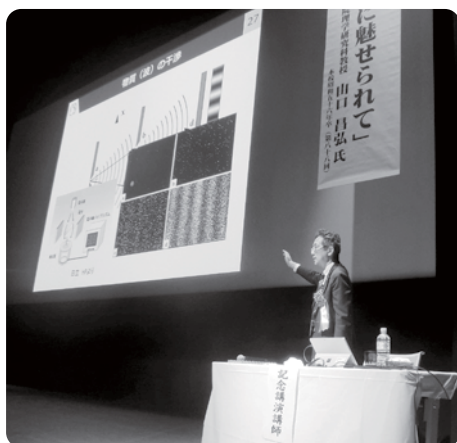
私は、鶴岡で生まれ育ち、鶴岡南高校を1981年に卒業しました。その後、東京の大学に入学し、物理学の道を志しました。そのきっかけになったのが「量子の世界」との出会いです。今日は、私が魅せられた「量子の世界」のお話をします。

近代の物理学の確立に大きな役割を果たしたのが17世紀に活躍したアイザック・ニュートンです。彼は、万有引力の法則の発見で有名ですが、皆さんが物理の時間に習うニュートンリングなど光学の研究でも大きな足跡を残しています。

これは、異なる経路を通った光が強め合ったり弱め合ったりする干渉という現象の典型的な例で、光の波動性（波としての性質）を表していると理解されますが、どういうわけかニュートンは光が粒子（粒のようなもの）であると考えていて、この現象の説明に大変苦労していたようです。それはともかく、その後も、ヤングの実験のように同一の光源から2つのスリットを通過した光が互いに干渉し干渉縞を作ることなどから、19世紀の後半

までには光の波動性が確立しました。

ところが、ミクロの世界の研究が進んできた19世紀の終わり頃から光の波動性では説明ができないことが次々に出てきました。その一つが光電効果というものです。金属に光を当てると電子が飛び出てきます。この時、入射する光の強度には無関係に、光の振動数が一定の値を超えると電子が飛び出すという事が分かりました。光の強度はエネルギーに比例するので、大きなエネルギーを注ぎ込んでも必ずしも電子にエネルギーを与える事



との多い量子情報技術や量子コンピュータも量子論に立脚しています。さらに、空の青や夕焼けの茜色、木々の緑といった私たちが何気なく見ている色も量子論で初めて説明がつくのです。私自身は、この量子の世界に魅了されもつと物理学を志し、その後、さらにミクロの世界である素粒子の研究へと進みました。今日は残念ながらこの話題に触れる時間がありません。

最後に、若い皆さんに向けて、20世紀を代表する物理学者であるリチャード・ファインマンの言葉を紹介します。私が、大学院生の時に、来日したファインマン博士と研究室の先輩たちと一緒に話した機会がありました。先輩が「どの研究が重要ですか？」と質問したのに対し、博士は「面白いと思う事をやりなさい」と答えてくださいました。皆さんにも、面白いと思う事を見つけたことん突き詰めてほしいと願っています。



中高一貫校計画の現在

令和6年度より庄内中高一貫校（仮称・以下新高校）が開校されます。

令和3年8月現在で説明できる事柄についてお知らせ致します。

開校準備にあたる組織として、開校整備委員会・作業部会があり、その中に4つの班会があります。既存施設の利活用や新校舎の整備について検討する①施設設備班、教育課程や教育内容を検討する②教育計画班、部活動や生徒会活動、生徒指導について検討する③生徒保健班、学校組織や広報、学校会計等を検討する④総務事務班です。現在班ごとに計画的に新高校の準備を進めているところです。

施設設備班関係

令和4年の夏頃より、新高校の校舎の大規模改修作業が始まる予定です。それに伴い、仮設の校舎をグラウンドに建設し、生徒・教職員共々令和6年3月までの間、仮設校舎で生活することになります。一方、鶴岡北高校については、現校舎での生活を継続しながら改修作業を行い、令和6年4月には中学校の校舎としてスタートすることになります。

教育計画班関係

ここでは現在決定していることについて述べたいと思います。まず新高校は単位制高校となります。令和4年度鶴南・鶴北入学生教育課程については、1年次の部分を揃えており、従って使用する教科書も原則同一のものとし、評価方法についても両校で揃えるよう各教科で検討を進めています。授業については、1週間32コマで編成し、1校時あたり55分となります。これは現在の鶴岡南高校と同じ形態です。

次に学級編制については、令和4年度入

学生は2年間それぞれ入学した高校で学校生活を送ります。令和6年度4月新高校に転学することになります。新高校ではクラス替えをせず、両校のクラスそのままの状態です。鶴岡北高校生徒は理数科に転学することはできません。よって令和6年度の3年生は、理数科1クラスと普通科7クラス、計8クラスとなります。一方、令和6年度の2年生は、理数科1クラスと普通科7クラスで、3年生と同様ですが、普通科のみ鶴南普通科の生徒と鶴北普通科の生徒でクラス編制を行います。このときも鶴北の生徒は理数科に転学することはできません。

現在検討していることとして、学期制、学習評価方法、教務内規、日課表、令和5年度入学生教育課程、大学入試における指



鶴岡北高現校舎



鶴岡南高現校舎

定校・学校推薦関係、修学旅行等今年度内には確定または方向性を開校整備委員会に示していくこととなっております。

生徒保健班関係

制服・運動着については、新高校のものを令和4年度入学生から着用することになります。現在選定委員会が中心となって、新高校にふさわしい制服・運動着を選定しているところです。それと平行して制服規定も検討していく予定です。また新高校の部活動については、現在両校に設置しているものは、原則令和4年度からも継続募集し、新高校になっても活動ができるよう検討しています。

総務事務班関係

新高校の校名、校章、校歌について、選定方法や今後のスケジュールについて今後検討しなければなりません。またPTA、後援会等の組織についても今後検討する予定です。

73年の歴史に幕

（鶴岡南高等学校通信制

令和3年度を以て閉課程）

昭和23年4月、当時の鶴岡第一高等学校通信教育部として設立されて以来、鶴岡南高等学校通信制の課程は、庄内一円やその周辺地域にも門戸を広げ、全日制・定時制の課程とは異なる学びの場として1,600人余りの卒業生を輩出し、長くその役割を果たしてきた。

山形県の県立高校再編整備基本計画により令和3年度をもって閉課程となることが決定され、令和3年11月21日(日)に閉課程記念式典が予定されている。また、令和4年度より庄内総合高等学校通信制課程として設置される予定であり、新たな出発に向けて準備が進められている。

名歌の誉れ高き校歌を共にし、鶴岡公園の桜が舞うたびに歴史を重ねてきた。鶴岡南高校の名の下で培われた「自主自立」の精神は、多くの卒業生の人生を支え、学校が変わっても同じく通信制で学ぶ生徒へと引き継がれていく。

（通信制教頭 池田貴之）

通友会のあゆみ

会長 福山 巡一（昭41卒・10回）



昭和37年8月「鶴岡通信制同窓会」が発足。

昭和41年、同窓会を「通友会」と改称する。各支部が結成された。（酒田・鶴岡・藤島・遊佐・八幡・余目・羽黒・三川・平田）毎年持ち回りで総会を開催。以後令和元年58回まで一度も休む事なく開催された。

昭和62年9月、通信制課程創立40周年記念式典、記念誌の発行。

平成11年1月、創立50周年記念式典・記念誌の作成・総会を開催した。記念ギャラリー完成を機に、学校より功労者の表彰。書・絵画を寄贈する。卒業生名簿の作成。

60周年に記念誌と卒業生名簿の作成。平成30年7月創立70周年記念式典・総会・講演に白幡進先生（鶴翔同窓会・旧教職員）の出席を賜り、盛大に開催。卒業生の年代構成も変化し、同窓生意識の変遷に伴い、従来の支部組織を縮小した。「庄内北支部・庄内南支部・

鶴岡南高等学校通信制70周年記念同窓会



通信制課程のあゆみ

9月	8月	昭62年 4月	昭59年 3月	昭53年 3月	昭51年 5月	昭46年 4月	昭41年 7月	昭37年 8月	昭36年 2～3月	昭32年 3月	昭31年 11月	昭30年 4月	昭29年 11月	昭28年 4月	昭27年 4月	昭23年 4月
通信制開設40周年記念式典	全国高校定通体育大会に初出場（卓球）	県高体連加盟	全日制校舎の全面改築 通信制が専用校舎（現校舎）となる	通信制開設30周年記念誌発行	夜間スクーリングが始まる	被服科設置（技能連携教育が始まる）	通信制協力会結成	通信制同窓会「通友会」結成	山形東高校通信制との統合反対運動	通信制初の卒業生2名誕生（当時の卒業単位は85以上）	文芸誌「酸漿」創刊 （現在の「ほおずき」）	通信教育のみで高校卒業が可能になる	初の日曜スクーリング	NHKの通信高校講座開始	校名が鶴岡南高等学校となる	戦後の学制改革のもと新制高等学校が誕生。本校の校名が鶴岡中学校から鶴岡第一高等学校となる。本校を含め全国82校に通信教育部が開設される。本校の入学者は105名（全国8,795名）

酒田支部・鶴岡支部」の四支部となった。卒業生名簿の作成。

令和2年「同窓会」コロナ禍により中止。

令和4年3月に通友会発足58年を以て、鶴岡南通信制課程は閉課程となる。

令和3年11月21日に式典・記念誌の発行・通友会総会を開催する予定。

鶴南通友会は、永遠に不滅です。

閉課程にあたって

石川 勝雄（昭37卒・6回）



諸事情で高校に進めない、それを救済する制度の通信教育。その元で高校を卒業させてもらった一人

だ。夢と希望を繋ぐため、若い情熱を集中させた拠りどころの鶴南通信教育を、他に移す事に反対の意思を表明。知事と教育長に葉書を出したものの、来年の4月にはいよいよ庄内総合高校に移る事に。

私は、昭和37年3月の卒業だから、卒業後60年で母校が無くなるんだが、入学した年の出席は一度もなし。2年目の最初の日に珍しい顔があったからか、先生に職員室に呼ばれて少し話をしたんだ。以後スクーリングに行くようになったの卒業。その先生は蟹谷栄一先生という。その頃、社会科の先生だった三上雅祥先生。共に米寿を過ぎてもお元気でおられ、賀状をいただけ

ることは有難い事だ。

三上先生が出生地である島根県に移られた翌年、阿部君と2人で先生を訪問すると言う話に俺も俺もという人が増えて20人程に。思わぬ修学旅行になったんだっけ。

こんな昔の話も、今ある私も、鶴南通信教育があったればこそ。お世話になった多くの皆さんに感謝感謝です。

鶴南通信に入学して

藤谷 まゆ（平29卒・61回）



鶴南通信に入学した頃の私は、物事をネガティブに捉え、人との関わりを持たない性格で、何事も

中途半端に諦め逃げていました。入学当初は体調が悪かった為ほとんど授業に行けず、両親のサポートもありようやく行けるようになったのは秋頃からです。

そこから生徒会行事の手伝いをし、学友祭やボウリング大会などに参加するようになり、生徒会の先輩たちとも仲良くなった事で学校生活が楽しくなりました。

先輩たちとの生徒会活動も終盤になると新旧役員の話し合いになり、歴史の先生から「生徒会長やってみたら？」と背中を押されて引き受ける事にしました。

生徒会活動はバイトとの両立があり

大変でしたが、先生や仲間の力を借りながら無事にやり遂げる事ができました。

他にも生活体験発表会で全国大会に出場したりと貴重な体験をさせていただき、自分の自信に繋がっていききました。

私を推薦してくれた歴史の先生のおかげで、私の高校生活はとても充実したのになりました。

時には、周りの同級生と比べ劣等感などを感じた事もありましたが、全日の高校に進学していたら学べなかった事がここ鶴南通信で学べ事が出来ました。

卒業後は通信制の大学に進学し心理学を専攻しました。大学では世代が上の方々と勉強する事で刺激をたくさんもらい、一から心理学を学ぶ事で自分を客観的に見つめ直す事ができ、またさらに一歩ステップアップできました。現在は地元のホテルで接客業をしています。泊まりに来るお客さんと接している時間は、大変な時もありますがとても楽しいです。

高校の時の自分では考えられないくらい前向きになり、明るく元気に日々の生活を送っています。今の私になれたのは、『自分らしさ』を大切にしてくれた家族や友人・鶴南通信の先生方・会社の上司などたくさんの方々の支えがあったのおかげです。本当に感謝しています。



通信制校舎

令4年 3月	平26年 4月	平24年 4月	平16年 4月	平14年 4月	平13年 4月	平11年 3月	11月	平10年 4月	11月	平6年 4月	平元年 4月	昭63年 8月
閉課程	鶴南山添校とのキャンパス制開始	酒西定との通定併修制度開始	被服科募集停止	卒業単位が74以上となる	2学期制をとり入れる	50周年記念誌発行	卒業生9名から寄贈があった書画を校舎内に展示（通友ギャラリー）	受講有効期間を1年にすると共に単位分割認定制度をとり入れる 鶴工定・酒商定との通定併修制度開始	「つるなん通信」500号となる	鶴工定との通定併修制度開始	修業年限が3年以上となる	生徒会活動後援会結成

お久しぶりです!!

各地で活躍の会員から

会えるのはいつ?



難波 理

(昭57卒・89回)

令和3年1月に孫が生れ「じいじ」に

なった。このご時世、娘の里帰り出産したいという希望も叶わず出生地は千葉県。コロナにはことごとく邪魔され続けて7か月にもなろうというのに孫には一度も会う事が出来ないでいる。そんな「じいじ」を氣遣ってか娘からはスマホを介して毎日のように写真や動画が送られてくる。スヤスヤ眠っているまるで天使かと思うような寝顔、くっつくなくゲラゲラ笑う顔、何が気に入らないのかギャンギャン泣きわめく顔、浮き輪を付けてプカプカ浮かぶ楽しそうな風呂タイム、後頭部の薄毛などなど。あつという間に寝返りできるようにになり、ハイハイし、離乳食をもうもり食べ、歯も生えてきて、早くもつかまり立ちまでできるようになった。歩く日もそう遠くないだろう。それらを眺めているのが何とも癒される時間だ。だがそれは所詮映像に過ぎず、赤ん坊の温もり、匂い、抱っこしたらずっしり重いのか、ふわっと軽いのか、体感することはできずやはりどこか虚

しさを感じてしまう。何とかこの可愛い盛りに会ってみたいものだと思うにいられない。

来年度、89期同窓生は卒業40周年の節目の年を迎えることとなります。少なからず今日よりは良い世の中になっていることを期待し、同窓生の皆様と再会できることを楽しみにしています。



七夕飾りにほほえむ孫

農業の中の ワークライフバランス



松浦 尚宏

(平6卒・101回)

就農し20数年が経過しました。8月下旬

旬はただちや豆の収穫最盛期です。コロナ禍の余波で作業スタッフの欠勤が

続いたこともあり原稿を書きながら先輩からの指名を快諾したことを少しだけ後悔しています。

先輩は40歳を過ぎて就農されました。先輩を見てみると毎日スーツ姿で出勤していた頃に出来なかった自分のやりたいことができていくように感じます。昨今、ワークライフバランスという言葉が喧伝されていますが自然を相手にする農業はその対極あると思っています。しかし、それは私だけの思いだったのかもしれない。

趣味が野球であった私は、帰郷してから野球を再開したことで沢山のひとと出会うきっかけを作ってくれました。特に鶴南野球部OBの方々には今も大変お世話になっております。また高校野球を通して培った強靱な身体と強いメンタルは農業を継続していく上で大きな財産となっています。

子育てと仕事に追われる私にとって、今はやりたいことを考えられる余裕はありませんが楽しみはあります。一番



ただちや豆

のワクワクは母校の野球部の活躍です。少子化や競技人口の減少などから一般高校が甲子園に出るということは果てしなく大きな夢かもしれませんが、いつの日かコロナ禍が終息した甲子園のアルプススタンドでマスクを外して大声で応援したいものです。その日のためにもワークライフバランスという言葉を頭の片隅に置きながら農業に取り組み、鶴岡の農業に貢献できればと考えています。

コロナ禍と切山椒



吉野 薫

(平14卒・109回)

11月になると鶴岡の冬の風物詩ともいえる切山椒が菓子店に並びます。

鶴岡に戻り11年。現在、私は家業の菓子店で働いています。

昨年の暮れに、40年ぶりに切山椒を食べたというお客さまからお手紙を頂戴しました。切山椒をきっかけに思い出話に花を咲かせたこと、小さかった頃に雪が降り積もる夕暮れのなか、だるま市で切山椒を買い求めた記憶、そしてコロナ禍によりふるさとに帰れないこと。

2020年4月、緊急事態宣言の発出から日常が一変しました。

飛沫防止シートの設置、消毒やマスクの着用をはじめとする感染症予防対策。Web会議システムを利用した営

業活動やECの活用などのデジタルシフト。

コロナ禍は地方の一菓子店にも少なからぬ影響を及ぼしました。目まぐるしい状況に右往左往しながら、また自身の力不足を痛感しながら、取り巻く環境変化への対応に追われました。

内省する機会も無いままに変転する状況に振り回されていましたが、お客さまからいただいた切山椒のお手紙は、立ち止まるきっかけを与えてくださったように感じました。

変化の大きな時代において、自分ができることは何か、どのような価値を提供できるのかを捉え直し、自主自発の精神をもって挑んでいきたいと思えます。



鶴岡の冬の風物詩「切山椒」

コロナ禍での出産体験記

藤田 光恵

(平20卒・115回)

南高校卒業後は福島大学へ進学し、

麻酔科医として働いてきました。

結婚を機に関東へ移住した私は里帰り出産で鶴岡へ行く日を心待ちにしていました。しかし2020年の春、新型コロナウイルスの流行による県外への移動自粛要請を受け、里帰り出産は直前で断念せざるを得なくなりました。初めての出産への不安や、準備を進めてくれていた家族へ申し訳ない思いがあり、やりきれませんでした。感染の恐怖と戦い、ひたすらお腹の子供の無事を祈る日々でした。

長い自粛生活の中迎えた2020年7月、元氣な男の子を出産しました。病院内への家族の立ち入りは禁止され、マスクをつけたままのお産でした。コロナウイルスにより我慢やストレスの多い妊婦生活になってしまいました。大きな声をあげて泣く息子の姿を見て、全ての努力が報われたように感じました。困難な状況でも診療を継続し、お産に尽力して下さった方々には感謝の念に絶えません。

先日息子は無事に1歳の誕生日を迎えることができました。電車とEテレが好きになわんぱく小僧に成長し、毎日歩く練習に勤しんでいます。これまで写真や動画を通して見守ってくれた家族、友人に会いに行きたい。実現できる日はそう遠くないと信じて、幼い息子とのかけがえのない時間を楽しみたいと思います。

第五回 〇〇会報告

60年前の部活「水泳部」

堀井 (佐藤) 善道 (昭38卒・70回)



入学は昭和35年で、念珠関(兎ヶ関)中学校卒業でしたので、同窓生2人と共に半強制的に入部となりました。

当時は市に公のプールが無く、泳げる場所を求めて、大山公園下池、湯野浜海岸、赤川の大曲り等を転々としておりました。7月になると第二小学校のプールを借りることが出来ました。

1000m～1500mの練習のために、学校から約1km、練習終了後汽車通学でしたので鶴岡駅まで約2・5km歩くのですから、むしろ歩く練習をしているようなものでしたが、他に選択肢が無かったため疑問には思いませんでした。

夏休みには湯田川温泉の入口の堰を止めて水を溜めた簡易50mプールで合宿を行いました。その時は佐藤陸男先輩、宮野賢一先輩が

付き合ってくれました。

練習が終わった夕方、そこを通ったら何とそこで馬を洗っているのには驚かされましたが、誰一人腹をこわす者も結膜炎になる者も出ず、無事でした。鶴南水泳部も、脈々と(細々と)絶えることなく、その50年後には県大会・東北大会は言うに及ばず、全国大会で優勝する生徒を輩出するようになるとは夢のようです。

卒業してからしばらくは水泳から離れておりましたが、47インターハイを契機に縁あって、市全体の普及と競技力向上の事業に約40年間も携わることが出来、本当に幸せに思っております。

前述の部活動時代の仲間とは、今でも親しく付き合っております。後輩の皆さんには、部活が続けて良かったと言う日が来ることを信じて、一日一日充実した高校生活を送って欲しいと願っております。

恩師からのたより

① 本校在職期間 ② 専門教科・部活 ③ 思い出や近況、メッセージ等



齋藤 仁先生

① 平成26年4月～令和3年3月

② 理科（化学）・陸上競技・文科部

③ この3月に退職するまで山形県立鶴岡南高校通信制の課程に7年ほど在職しておりました齋藤と申します。4月からは再任用となり神室産業高校真室川校に片道52km、およそ1時間かけて体に鞭打って庄内から通勤しております。

通信制に通う生徒は、様々な事情を抱えて入学してきます。年齢や職業もいろいろです。共通していることは今後のキャリアのために「高校卒業の資格を得る」という強い信念を持っていることです。教職員はその子供たちの信念を実現するために、日曜日や木曜日に登校してスクーリングに出席する生徒にレポートを解説するだけでなく、通信制独自のシステムである対面による個人学習を通して一人一人に寄りそって学習を進めていきます。

前半は進路担当として卒業させるだけでなく、その後のキャリア、特に進学に向けて学習の進め方やどんな進学先があつてどのように出願して受験し合格するか、といった日々の計画と実

践を中心に関わってきました。

後半は総務担当として、学校の整備、行事の運営や協力会の組織と深く関わらせていただきました。真摯に向き合う生徒と接しながら充実した日々を送ることができました。

今年度で閉課程となりますが、通信制の意義とそこに通う子供たちの信念は変わることなく庄内総合高校に引き継がれると確信しています。全日制では一度だけ、当時の化学の先生の依頼を受け、反転学習のデモで数名の生徒に化学を教えたことがあります。とても新鮮でした。全日制に用がある時、すれ違う生徒のまなざしに次世代を担っていく強い意志を感じます。

貴校の益々の発展を、心より祈念しております。



齋藤 恵美先生

① 平成25年4月～令和3年3月

② 英語・バドミントン部

③ 酒田での勤務が長かった私には鶴岡南高校は当初遠くに感じられました。そんな気持ちを一変してくれたのが赴任して間もない新入生歓迎会でした。思わず笑いが出て、質の高い映像

やダンスを見て一気に心が舞い上がりました。授業中は、反応が早く、どのクラスでも笑いが起こり、学ばれしさがありません。鶴岡南生は、その時々を純粹に心の底から楽しむ力を身につけていたのではないかと思います。学習だけではなく、部活動、学校行事等全において妥協せず、必死に向かっていた。こうした熱い思いで協働し、人を楽しませる経験はいつまでも強く心に残り、社会での活躍のもととなります。

まず、台湾研修や鶴岡ゼミなどの活動での積極性や探究活動にも感動しました。教師が教え込まなくても自主的に生徒が動いていました。英語弁論やデイベート大会等でも生徒は初めてのことに果敢に向かい素晴らしい結果を残してくれました。部活動でも、コロナ禍での制限下、部長を中心に諦めずに工夫して活動してくれました。

現在、酒田西高校に勤務し、将来地域で活躍できる人になるよう生徒を育てています。鶴岡南高校での経験が今も私の原動力として活かしています。

鶴岡南高が今後も自主自律、叡智と勇気で、逞しく、新しい時代を切り拓く人財をこれからも生み出し、さらに発展していくことを期待しています。



伊藤 可菜先生

① 平成24年4月～令和3年3月

② 国語・剣道部・水泳部

③ 鶴岡南高校には8年間勤務しました。私自身至らない点が多くあったのですが、職員の皆様や生徒の皆さんに支えられ、充実した教員生活を送ることができた実感しています。

講師時代にお世話になった先生が鶴岡南高校出身で、「高校時代が一番楽しかったから高校教師になった。」とおっしゃっていたので、一体どんな学校なのかと興味を湧かせていました。

実際に赴任してみると、生徒自身が持つ「何事も楽しもう」という姿勢、自らの力で学校行事を企画・運営し、学校全体で行動する実行力、また学習にも常に向上心を持って取り組む姿に驚きました。他者を理解し尊重する気持ちも持ち合わせており、互いに成長する関係を築けていると感じました。生徒の力を信じてサポートしていく、という教員側の思いも感じました。

部活動では7年間水泳部の顧問を務めました。朝練、授業、夜練というハードな日程をこなす生徒もおり、その努力のおかげで東北大会やインターハイにも多く連れて行ってもらったこと、また部員とのたわいのない会話もいい思い出となっています。

現在はともに中高一貫校となる鶴岡北高校に勤務しています。コロナ禍で活動が制限されている中、こちらの学校でも生徒たちは自らの力で様々なことに挑戦しています。皆さんの力で未来を切り開き、新高校が更なる発展をすることを期待しております。

勤続10年表彰



齋藤 雅子先生

①平成23年4月～現在
②理科・家庭科の実験実習・音楽部
③家庭科の講師を数年経験した後、実習教諭として、東日本大震災の直後に本校に赴任し、現在11年目となりました。



当時は、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業に手を挙げた頃でした。はじめは落選。再挑戦のため、計画書を練り直す作業は大変なものでしたが、平成24年に無事、SSH校として採用され、様々な事業がスタートしました。当初は校内体制も構築されていなく、主担当の先生と共に、全てが手探りで大変な日々だったことを思い出します。しかし、生徒達の前向きな活動が増え、先生方の理解が少しずつ進み、

した。

私は、実習教諭という職業柄、生徒の前に出ることはそれほど多くありません。そんな中でも音楽部の生徒とは多くの時間を共に過ごしています。定期演奏会やコンクールだけでなく、様々な活動を通して大きく成長する音楽部員の姿を見られることは何よりも幸せです。毎年夏に開催している定期演奏会では、現役生とOB・OGとの合同ステージを行い、大人になった卒業生に会えることが励みになっています。また、東北大会や全国大会で各地を訪れることも楽しみのひとつです。これから中高一貫校へと生まれ変わる本校で生徒達と共に様々な経験を、人とのつながりや縁を大切にして頑張っていきたいと思っています。

野崎 剛先生



聖火ランナーの大役で鶴岡市広報7月号表紙を飾る

①昭和62年4月～平成9年3月
平成20年4月～現在
②保健体育・アーチェリー部
③昭和62年春、「べにばな国体（平成

4年）」に向けた指導の機会をいただき、本校で教員（アーチェリー指導者？）人生をスタートしてから、早いもので35年目を迎えました。平成9年に鶴岡へ異動、庄内教育事務所勤務を経て、平成20年春、再び本校で働ける幸運に恵まれました。以来今年で14年目、通算25年目の鶴岡勤務となりました。

現在は、同僚として働く多くの教え子や、周りの先生たちに支えられながら、老体に鞭打って何とか3回目の学主任（1年生）を務めております。

35年の月日が経ち、容姿も随分変容した私ですが、相も変わらずアーチェリーを指導させていただいています。長くやっていると神様もご褒美を下さるようで、平成27年の近畿インターハイで男子団体優勝、29年のえひめ国体で男子個人優勝など、全国でも結果を残せるようになりました。

また、今夏の東京2020五輪で、



中村選手



野崎先生



アーチェリー
競技に出場した中村美樹選手（鶴岡市）の指導に

携わらせていただきました。残念ながらメダルには届きませんでしたが、雪国からの挑戦というハンデの中、国内代表選考会を勝ち抜き、オリンピック団体5位入賞、個人9位という素晴らしい結果を残してくれました。初任以来、学校の枠を超えて多くの生徒を指



今年度県高校総体男女優勝レインターハイへ

導してきた経験を生かしたのではないかと自賛しているところですが、この経験を今後の指導に生かし、選手の育成に努力したいと思います。

最後に、コロナ禍により多くの方々が大変な思いをされていると思います。一日も早い収束と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

在校生の活躍

全国で地元下

文部科学大臣賞を受賞して



二年
富樫 永理奈

小学生の頃から毎年取り組んできた読書感想文でついに文部科学大臣賞をいただくことができ、大変うれしく思っています。

受賞後、私の作品をたくさんの方に読んでいただくことになり、いつか著者の方の目にとまることを心のどこかで不安に感じていました。私の本の解釈は間違っていないだろうか、著者の気持ちに寄り添った主張ができているだろうか、と。でも、思いもかけず著者の方からお便りをいただき、その内容を読んで、やっと安心することができました。著者の今野真二先生に認めていただいたとき。初めて私自身の中で受賞を受け止めることができた気がします。

私の作品を読んでくださった新聞の読者の方からお便りをいただいたり、著者の方や出版社の方からお祝いの言葉をいただいたり、夢のような出来事が続き、この賞の重みを実感しました。賞に恥じないように、これからも目の前のことにしっかりと取り組んでい

きたいです。

本来ならば東京で催されるはずの表彰式はコロナ禍で中止になってしまい、とても残念でしたが、たくさんの先生、先輩、友達におめでとうと声をかけていただきました。家族のように喜んでくれる皆さんの優しさにふれるたびに鶴岡ですてきな人たちに出会えたことを幸せに思いました。本当にありがとうございます。

受賞作品は

こちらから▼▼▼



今野真二著「『広辞苑』を読む」の読書感想文で昨年度、全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催 青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部優秀作品に選ばれました。

地域活性化ゼミの

第三学区講演会

SSH担当課長 佐藤 清輔

6月26日に第三学区コミセンにおいて第三学区住民学習講座「令和まなび塾」が開催され、講師として本校3年生8名が「アプリで鶴岡の魅力を再発見！」の演題で講演を行った。平成24



年度から本校は文科省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、その取組の中心となる活動が全校生徒が行う探究活動「鶴岡ゼミ」である。2年では15あるゼミのうちのいずれかに所属し、個人またはグループでテーマを決めて一年間取り組んでいくのだが、そのゼミの一つに地域活性化ゼミがある。昨年度2年生であった今回の8名はこの地域活性化ゼミに所属し、地域活性化に関わるスマホ用アプリを開発した。同時に、開発しても使ってもらえなくては地域活性化につな

がらないということから広くメディアに取り上げてもらう活動も行った。そんな中で第三学区コミセンさんから幅広い年代の交流をテーマの一つとしている住民学習講座の中で発表してほしいとお声がけがあり、今回の実施につながった。本来ならば2年生が発表者となるところであるが6月という時

期、しかも昨年度の取組についての話ということで既に活動を次の代にバトナタッチし終えた3年生による発表となった。当日はこれまでの経緯や市内の様々な施設が簡単に検索できるスマホアプリの開発についての説明の後に参加者と一緒に実際にスマホを操作し、アプリのダウンロード、利用を行った。参加者は若い世代からご年配の方まで正に幅広い年代の交流がなされ、地域活性化につながる取組を行うことができた実感できて講師としても満足げな8名であった。お声がけいただいた第三学区コミセンさんには本当に感謝しております。引き続き地域活性化ゼミの活動を盛り上げていきたいと思います。



スマホの操作で世代間交流

南高祭「生徒会企画」 “CM制作で 地域連携”

生徒会と鶴岡市内10商店街とで、各商店街をPRするCMを10本制作。南高祭の目玉企画として各クラス発表の合間に上映し大好評でした。打ち合わせからシナリオ作成、撮影まで約一ヶ月かけて完成。鶴岡南高公式ホームページにてご覧ください。

母校だより

全 日 制

令和2年度の卒業生

191名

令和3年度教職員の異動

(転 入)

砂田 智 (教頭・酒田東高校)

庄司 豊 (国語・退職)

齋藤 恵美 (教頭・英語・酒田西高校)

伊藤 可菜 (国語・鶴岡北高校)

三宅 国彦 (理科・遊佐高校)

會田 翔平 (保体・鶴岡工業高校)

前野千鶴子 (総務主査・庄内総合支庁税務課)

菅原 悟 (学校技能員・退職)

(転 入)

田村 裕 (教頭・地歴公民・鶴岡南高校通信制)

小松久美子 (国語・庄内総合高校)

櫻井 潤 (理科・教育庁高校教育課)

五十嵐一明 (英語・鶴岡工業高校)

佐藤 照子 (国語・鶴岡工業高校定時制)

高橋 紘人 (実習講師・情報理科・新庄神室産業高校)

中里 征晴 (非常勤講師・保体)

齋藤 豊文 (総務主査・こころの医療センター)

齋藤 廣一 (学校技能員)

通 信 制

令和2年度の卒業生

39名

(9月3名3月36名)

令和3年度教職員の異動

(転 出)

田村 裕 (教頭・地歴公民・鶴岡南高校全日制)

齋藤 仁 (理科・新庄神室産業高校真室川校)

齋藤 早希 (保健体育・非常勤講師・酒田市立亀ヶ崎小学校)

富樫 由美 (事務・遊佐町立蔵岡小学校)

(転 入)

池田 貴之 (教頭・地歴公民・酒田西高校)

長南 友也 (理科・酒田東高校)

鷺田 孝行 (保健体育・非常勤講師)

佐藤 和義 (事務・庄内総合支庁税務課)

各種大会記録

【全国定時制通信制体育大会】

卓球 女子個人

伊藤 梨紗 (3年度生) 出場

進 路 状 況

【令和2年度進路状況】

①東京大1名合格 一橋大2名合格

②医学部医学科 1名合格

《共通テスト》

今春の卒業生は、191名が、昨年度から新しく実施された共通テストに出願した。5教科900点型で本校平均点は583・4点で、本校生は全国平均点を25点上回った。

《合格状況》

国公立大には136名が合格した。在籍数に対しての合格率は71・0%となり、県内進学校の中でも1位の好成績だった。共通テストの高得点を元に、国公立大・私立大ともに難関大学に最後まで挑戦したことが好結果を生んだ。現役生で、東京大、一橋大2人、東京工業大、東京芸術大、北海道大、東北大4人、国際教養大、医学部

③東北大学 4名合格
④国公立大学 136名合格

医学科1人等、難関大学への合格が顕著であり、近年の好調を維持した。過年度生も、国公立大では北大、秋田大医学部医学科合格。私立大では、東京理科大2人、明治大2人など合格した。コロナ禍にあっても、果敢な挑戦と粘り強い努力で、志望を達成した。国公立大合格者数の多い大学としては、新潟大20人、山形大15人、秋田大10人、弘前大6人、東北大4人、埼玉大4人と近隣の大学に多く進学する傾向が継続している。私立大の合格者数は延べ288人で、過去最高であった。早稲田大3人、慶應義塾大2人、上智大2人、東京理科大2人、明治大4人、立教大2人、津田塾大1人、同志社大1人など、難関私立大に合格した。

(進路指導課長 安野 浩夫)

主な大学合格者数 (現役のみ・延べ人数)

国公立大学	北海道	1	私立大学	早稲田	3
	弘前	6		慶應義塾	2
国公立大学	岩手	1		上智	2
	宮城	2		明治	4
国公立大学	東北	4		東京理科大学	2
	秋田	10		同志社	1
国公立大学	山形	15		東北学院	35
	茨城	3		その他	239
国公立大学	筑波	1	私立大学計		288
	横浜国立	1	進路状況		
国公立大学	埼玉	4	卒業生数		191
	電気通信	1	進学内訳	国公立大学	122
国公立大学	一橋	2		私立大学	41
	東京	1		短期大学	2
	東京外語	1		各種学校等	1
国公立大学	東京芸芸	1	進学者計		167
	東京工業	1	就職者数	就職者数	1
国公立大学	東京藝大	1		進学準備等	24
	新潟	20			
	富山	1			
国公立大学	広島	2	進路状況		
	国際教養	1	卒業生数		191
国公立大学	秋田	4	進学内訳	国公立大学	122
	新潟	6		私立大学	41
	山形	4		短期大学	2
	高崎	6		各種学校等	1
国公立大学	その他	35	進学者計		167
	国公立大学計	136	就職者数	就職者数	1
				進学準備等	24

叙勲・表彰 『誠にありがとうございます』

(敬称略「同窓会だより」第61号以降)
令和3年10月8日現在

伊藤美喜雄	旧職員昭42年卒・74回	令和2年秋	瑞宝小綬章(教育功劳)
浅賀 隆	昭47年卒・79回	令和2年秋	黄綬褒章(業務精励(建設業))
奥田 實	昭27年卒・59回	令和2年10月	瑞宝双光章(教育功劳)
高野 勝彦	昭54年卒・86回	令和2年11月	文部科学大臣表彰(教育者)
大内 治男	旧職員	令和2年12月	瑞宝小綬章(教育功劳)
新橋 武	旧職員	令和3年1月	瑞宝小綬章(教育功劳)
村山 正憲	昭28年卒・60回	令和3年3月	瑞宝双光章(教育功劳)
真島 吉也	昭29年卒・61回	令和3年度	文部科学大臣表彰(学校保健・学校医)

訃報 『謹んで哀悼の意を表します』

(敬称略「同窓会だより」第61号以降)
令和3年10月1日現在

池田 清	歴代校長 H3.4～H5.3	大滝 博靖	昭27年卒・59回	小鷹 道邦	昭33年卒・定29回
梅津 幸夫	旧職員 S29.4～S58.3	大平(後藤) 文夫	昭27年卒・59回	菅原 豊雄	昭34年卒・66回
田沢 武	旧職員 S48.4～S58.3	加藤 玲宗	昭27年卒・59回	安達(五十嵐) 民治	昭34年卒・商8回
齋藤 嵩	旧職員 S52.4～H1.3	佐藤 卓司	昭27年卒・59回	黒崎 勝矢	昭35年卒・67回
日詰 征郎	旧職員 S59.4～H5.3 昭38年卒・70回	中里(芳賀) 章	昭27年卒・59回	澤川(上野) 三之助	昭35年卒・67回
和田(金野) 良司	4修	森 保美	昭27年卒・59回	田口 善作	昭35年卒・67回
小川 善也	昭15年卒・48回	林 哲夫	昭27年卒・商1回	平山 芳夫	昭35年卒・67回
伊藤 銑太郎	昭16年卒・49回	鈴木 吉郎	昭27年卒・定22回	五十嵐 重良	昭36年卒・68回
大久保 貞祐	昭17年卒・50回	小林 国夫	昭28年卒・60回	日向 伸士	昭36年卒・68回
小松 礼二郎	昭17年卒・50回	本間(斉藤) 千枝	昭28年卒・60回	高田 清	昭36年卒・商10回
水原 泉	昭18年卒・51回	村山 正憲	昭28年卒・60回	阿部 勝一	昭36年卒・定32回
須田 郁男	昭20年⑤卒・53回	千葉 寛容	昭28年卒・商2回	佐藤(叶野) 国雄	昭36年卒・定32回
高橋(菅原) 賢造	昭20年⑤卒・53回	菅原 精一	昭28年卒・定23回	船戸 猛夫	昭36年卒・定32回
和田 満	昭20年⑤卒・53回	板垣 たき子	昭29年卒・61回	大井 弘志	昭37年卒・69回
粕谷 栄久	昭20年④卒・53回	今井 靖二	昭29年卒・61回	伊藤 重治	昭37年卒・商11回
鶴田 幸弥	昭20年④卒・53回	遠藤 敏雄	昭29年卒・61回	大川(林) 駿治	昭37年卒・定33回
伊藤 繁次郎	昭20年④卒・定15回	大滝 和子	昭29年卒・61回	本間 義幸	昭38年卒・70回
梅津 満雄	昭20年④卒・定15回	大滝 康子	昭29年卒・61回	正立 隆	昭38年卒・70回
上野 三郎	昭20年卒・定15回	小松 泰	昭29年卒・61回	石川(斉藤) 保	昭39年卒・商13回
大瀬 靖	昭21年卒・54回	平野(竹野) 富美	昭29年卒・61回	伊藤 茂徳	昭40年卒・72回
佐藤 常雄	昭21年卒・定16回	茂木(白幡) 郁子	昭29年卒・61回	上野 藤吉	昭40年卒・72回
秋葉 賢一	昭23年卒・55回	武田 弘二	昭29年卒・61回	青田(芳賀) 百合子	昭41年卒・73回
斉藤 裕	昭23年卒・55回	佐藤 俊二	昭29年卒・商3回	五十嵐 武博	昭42年卒・74回
橋本 和雄	昭23年卒・55回	葛城(斉藤) 忠尚	昭30年卒・62回	広田(全) 在鴻	昭42年卒・74回
遠藤(佐藤) 金吾	昭23年卒・定17回	斎藤 幸保	昭30年卒・62回	五十嵐 剛一	昭42年卒・商16回
阿部 貞夫	昭25年卒・57回	渋谷 民生	昭30年卒・62回	佐藤(須田) てい	昭43年卒・75回
榎本 雄行	昭25年卒・57回	北風 光男	昭30年卒・定26回	遠見 正行	昭45年卒・77回
帶谷 行夫	昭25年卒・57回	工藤 稔	昭30年卒・定26回	畑山(山中) 孝子	昭47年卒・定43回
成澤 功	昭25年卒・57回	阿部 忠昭	昭31年卒・63回	石川(加藤) 郁子	昭48年卒・80回
阿部 和章	昭26年卒・58回	佐藤 誠一	昭31年卒・63回	小玉 とみ子	昭52年卒・通21回
兼子(助川) 京子	昭26年卒・58回	佐藤 忠夫	昭31年卒・63回	成沢 直人	昭55年卒・87回
佐藤 俊一	昭26年卒・58回	佐藤(粕谷) 洋子	昭31年卒・63回	蛸井 善久	昭57年卒・89回
菅井(渡部) 富子	昭26年卒・58回	阿部 光一	昭31年卒・商5回	伊藤(渡會) 俊宏	昭59年卒・91回
関 恒夫	昭26年卒・58回	五十嵐 悌治	昭31年卒・商5回	寒河江 隆浩	昭59年卒・91回
土田 実	昭26年卒・58回	藤橋(大屋) 治子	昭31年卒・商5回	加藤 敬二	昭60年卒・通29回
松浦 金四郎	昭26年卒・58回	地主 清一	昭32年卒・64回	阿部 智子	昭62年卒・94回
三浦 弘曹	昭26年卒・58回	高橋(石田) 枝津子	昭32年卒・64回	瀬尾 彰	平3年卒・98回
山口(大沼) 鶴子	昭26年卒・58回	矢口 親顕	昭32年卒・64回	秋場 高尚	平4年卒・99回
大場(上林) 元子	昭26年卒・定21回	渡部(池田) 行雄	昭32年卒・定28回	池田 奈緒美	平4年卒・99回
石塚(佐藤) 静子	昭27年卒・59回	池田 修也	昭33年卒・65回	伊藤 礼稀	平28年卒・123回
大瀧 悌一郎	昭27年卒・59回	谷内(斎藤) 昭治	昭33年卒・65回		
		保科 一彦	昭33年卒・65回		

(123人)

令和2年度 鶴翔同窓会一般会計決算

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日 単位:円

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1 会 費		5,625,000	5,550,089	▲ 74,911	
① 入 会 金		1,125,000	1,150,000	25,000	@5,000円×(191+39)名
② 維持会費		4,500,000	4,400,089	▲ 99,911	@3,035円×1,450件 ゆうちょ770 コンビニ600 クレジット80
2 広 告 料		280,000	0	▲ 280,000	同窓会だより:0件、HPバナー広告:0件
3 繰 入 金		0	0	0	事業積立金より
4 繰 越 金		123,257	123,257	0	前年度からの繰越金
5 雑 収 入		11,743	4,518	▲ 7,225	
合 計		6,040,000	5,677,864	▲ 362,136	
支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1 運 営 費		1,350,000	1,431,786	81,786	
① 会 議 費		10,000	0	▲ 10,000	事務局会議、役員会、理事会、総会
② 需 用 費		140,000	120,256	▲ 19,744	はがき、切手、事務用品、インターネット接続 他
③ 負 担 金		710,000	710,000	0	PTA書記給与負担金
④ 旅 費		10,000	0	▲ 10,000	支部総会出席者旅費等:各総会中止
⑤ 支払手数料		280,000	309,916	29,916	維持会費・寄付金振替手数料
⑥ 雑 費		200,000	291,614	91,614	事務局員活動費、諸雑費
2 事 業 費		3,670,000	3,590,222	▲ 79,778	
① 同窓会報印刷発行費		2,850,000	2,744,322	▲ 105,678	印刷費・封筒・発送費等
② 創立記念事業費		10,000	0	▲ 10,000	案内印刷、看板、講演料、実行委員会会議費 他:講演中止
③ ホームページ運営事業費		180,000	182,600	2,600	ホームページ運営費
④ 支部総会補助費		10,000	0	▲ 10,000	支部総会祝金(庄内5,000円、他10,000円):すべて中止
⑤ 在校生活動奨励費		430,000	450,000	20,000	全日300,000円、通信100,000円、部活動祝金50,000円
⑥ 卒業記念品		190,000	213,300	23,300	卒業証書ファイル(270冊)
⑦ 事業積立金		0	0	0	事業積立金会計への繰出金
⑧ 特別会計繰出金		0	0	0	学校支援活動特別会計への繰出金
3 予 備 費		1,020,000	0	▲ 1,020,000	
合 計		6,040,000	5,022,008	▲ 1,017,992	

[収入] 5,677,864円 - [支出] 5,022,008円 = 655,856円(次年度への繰越)

令和2年度 事業積立金会計決算

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1 一般会計繰入金		0	0	0	
2 寄 付 金		1,300,000	1,385,000	85,000	260件
3 手 数 料		0	0	0	「会員名簿」発刊時の還元金
4 繰 越 金		7,168,518	7,168,518	0	前年度からの繰越金
5 雑 収 入		82	34	▲ 48	預金利子
合 計		8,468,600	8,553,552	84,952	
支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1 教育振興事業費		0	0	0	
2 特別会計繰出金		0	0	0	エアコン特別会計へ
3 一般会計繰出金		0	0	0	一般会計へ
4 創立記念事業費		0	0	0	
5 予 備 費		8,468,600	0	▲ 8,468,600	
合 計		8,468,600	0	▲ 8,468,600	

[収入] 8,553,552円 - [支出] 000円 = 8,553,552円(次年度への繰越)

令和2年度 学校支援活動特別会計決算

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1 一般会計繰入金		0	0	0	
2 積立金会計繰入金		0	0	0	
3 寄 託 金		200,000	197,043	▲ 2,957	令和 3年3月(128回)卒業一同様 197,043円
4 繰 越 金		6,758,885	6,758,885	0	
5 雑 収 入		15	49	34	
合 計		6,958,900	6,955,977	▲ 2,923	
支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減	備 考
1 事 務 費		0	0	0	
2 激 励 活 動 費		250,000	142,986	▲ 107,014	新会員受験対策支援(仙台・東京・京都方面)
3 整 備 活 動 費		350,000	284,680	▲ 65,320	鶴翔会館へWi-Fi設置
4 助 成 活 動 費		150,000	0	▲ 150,000	ソフト面の助成
5 予 備 費		6,208,900	0	▲ 6,208,900	
合 計		6,958,900	427,666	▲ 6,531,234	

[収入] 6,955,977円 - [支出] 427,666円 = 6,528,311円(次年度への繰越)

令和2年度 鶴翔会館エアコン特別会計決算

収入の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減
1 ガス使用料金		95,000	77,362	▲ 17,638
2 積立金会計繰入金		0	0	0
3 繰 越 金		946,326	946,326	0
4 雑 収 入		74	8	▲ 66
合 計		1,041,400	1,023,696	▲ 17,704

支出の部		本年度予算額	本年度決算額	比較増減
1 ガス使用料金		110,000	93,994	▲ 16,006
2 メンテナンス・修理費		140,000	132,000	▲ 8,000
3 繰 出 金		0	0	0
4 予 備 費		791,400	0	▲ 791,400
合 計		1,041,400	225,994	▲ 815,406

[収入] 1,023,696円 - [支出] 225,994円 = 797,702円(次年度への繰越)

令和2年度鶴翔同窓会の事業報告

理 事 会	第1回(4/30 在宅書面)
役 員 会	第1回(4/15 在宅書面)・第2回(11/9 学校会議室)
総 会	5/9～5/14 ホームページに掲載
創 立 132 周 年 記念行事(7月1日)	記念式典:学校体育館で教職員と全校生徒のみ出席 記念講演と記念祝賀会は中止
同 窓 会 だ よ り	第61号 16,250部発行(11/1)
令和2年度入学式	全日制:193名(R2.4/23) 通信制:36名(R2.4/19)
令和2年度卒業式	全日制:191名(R3.3/5) 通信制:3名(R2.9/30) 36名(R3.3.14)

令和3年度 鶴翔同窓会一般会計予算

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日 単位:円

収 入 の 部		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	会 費	5,625,000	5,625,000	0	
	① 入 会 金	1,125,000	1,125,000	0	@5,000円×(195+30)名
	② 維 持 会 費	4,500,000	4,500,000	0	@3,000円×1,500件
2	寄 付 金	1,300,000	0	1,300,000	250件
3	広 告 料	0	280,000	▲ 280,000	同窓会だより0件
4	繰 入 金	797,702	0	797,702	鶴翔会館エアコン特別会計の閉鎖に伴う繰入
5	繰 越 金	655,856	123,257	532,599	前年度からの繰越金
6	雑 収 入	91,442	11,743	79,699	エアコンPTA使用料77,000円、会員名簿売却代 他
	合 計	8,470,000	6,040,000	2,430,000	
支 出 の 部		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	運 営 費	1,584,000	1,350,000	234,000	
	① 会 議 費	10,000	10,000	0	事務局会議、役員会、理事会、総会
	② 需 用 費	140,000	140,000	0	はがき、切手、事務用品、インターネット接続 他
	③ 負 担 金	720,000	710,000	10,000	PTA書記給与負担金
	④ 旅 費	10,000	10,000	0	支部総会出席者旅費等
	⑤ 支払手数料	310,000	280,000	30,000	維持会費・寄付金振替手数料
	⑥ 鶴翔会館エアコン費	94,000	0	94,000	ガス支払料金、R7予定のメンテナンス
	⑦ 雑 費	300,000	200,000	100,000	事務局員活動費、慶弔費、諸雑費
2	事 業 費	3,883,000	3,240,000	643,000	
	①同窓会報印刷発行費	2,800,000	2,850,000	▲ 50,000	印刷費・封筒・発送費等
	②創立記念事業費	200,000	10,000	190,000	タクトで学校関係者対象の式典と講演(祝賀会は開催中止)
	③ホームページ運営事業費	183,000	180,000	3,000	ホームページ運営費
	④支部総会補助費	0	10,000	▲ 10,000	支部総会には不参加(本年のみ)
	⑤卒業記念品	200,000	190,000	10,000	卒業証書ファイル(240冊)
	⑥事業積立繰出金	500,000	0	500,000	事業積立金会計への繰出金(運転資金の残金)
	⑦特別会計繰出金	0	0	0	学校支援活動特別会計への繰出金
3	予 備 費	3,003,000	1,450,000	1,553,000	運転資金相応の金額(事業費①②分)
	合 計	8,470,000	6,040,000	2,430,000	

令和3年度 鶴翔同窓会事業積立金会計予算

収 入 の 部		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	一般会計繰入金	500,000	0	500,000	
2	手 数 料	0	0	0	「会員名簿」発刊時の還元金
3	繰 越 金	8,553,552	7,168,518	1,385,034	前年度からの繰越金
4	雑 収 入	48	82	▲ 34	預金利子
	合 計	9,053,600	7,168,600	1,885,000	
支 出 の 部		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	一般会計繰出金	0	0	0	一般会計へ
2	創立記念事業費	200,000	0	200,000	通信制の閉課程記念事業に助成
3	予 備 費	8,853,600	7,168,600	1,685,000	
	合 計	9,053,600	7,168,600	1,885,000	

令和3年度 鶴翔同窓会学校支援活動特別会計予算

収 入 の 部		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	一般会計繰入金	0	0	0	一般会計より
2	寄 託 金	200,000	200,000	0	全日卒業生、同期会等から
3	繰 越 金	6,528,311	6,758,885	▲ 230,574	前年度からの繰越金
4	雑 収 入	89	15	74	預金利子等
	合 計	6,728,400	6,958,900	▲ 230,500	
支 出 の 部		本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1	激 励 活 動 費	200,000	250,000	▲ 50,000	新会員受験対策支援(仙台・東京・京都方面)
2	整 備 活 動 費	300,000	350,000	▲ 50,000	設備・物品等ハード面の整備
3	在校生生活動奨励費	300,000	150,000	150,000	活躍した部、個人に助成・祝金
4	予 備 費	5,928,400	6,208,900	▲ 280,500	
	合 計	6,728,400	6,958,900	▲ 230,500	

令和3年度 鶴翔同窓会役員・事務局体制

役 員	・顧問	石黒 慶一	(昭35卒・67回)			
	・会長	齋藤 正志	(昭44卒・76回)			
	・副 会 長	國井 英夫	(昭44卒・76回)	田中 芳昭	(昭46卒・78回)	黒澤 久子 (昭46卒・78回)
		滝川 義朗	(昭51卒・83回)	渡會 俊仁	(昭57卒・89回)	福山 巡一 (昭41卒・通10回)
		坂尾 聡	(校長・昭55卒・87回)			
	・会計監事	堀 真一	(昭53卒・85回)	金井 昌弥	㊦(昭59卒・91回)	菅原 一浩 (昭60卒・92回)
事 務 局	・事務局長	佐藤 守	(昭51卒・83回)			
	・事務局員	高樹 陽子	(昭45卒・77回)	石塚 俊朗	(昭45卒・77回)	須田 まき (昭49卒・81回)
		菅原 ゆり	(昭51卒・83回)	北風 秀明	(平2卒・97回)	佐藤 英成 (平5卒・100回)
		藤橋 弘行	(事務部長)	田村 裕	㊦(全日教頭・昭60卒・92回)	
		池田 貴之	㊦(通信教頭)	佐藤 義徳	(総務課長)	
	・事務補助員	齋藤 優子				

畑山孝一	昭和43(三九回)	昭和39(三五回)	昭和37(三三回)	昭和36(三二回)	高田啓一	岡本雅至	昭和29(二五回)	定時制	佐藤日向子	加藤光	成田周平	平成28(六〇回)	高岡舞	平成27(五九回)	牧小静	昭和60(二九回)	昭和52(二二回)	福山巡一	昭和41(一〇回)	難波きぬ	昭和40(九回)	碓氷貞一	昭和34(三三回)	通信制	渡部芳雄	佐藤玲子	柴田曜子	堀清一	旧職員
------	-----------	-----------	-----------	-----------	------	------	-----------	-----	-------	-----	------	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----------	------	-----------	------	----------	------	-----------	-----	------	------	------	-----	-----

寄付者芳名簿	
令和2年4月1日～令和3年3月31日	
件数260件合計金額1,385,000円	

小銃林直生	昭和32(四四回)	高橋昭章	昭和31(三三回)	佐藤雄一	長谷川玲子	長田勝美	菅原清一	上野龍二	安藤二保	斎藤己毅	後藤毅	遠藤雄	真田雄	氏川治功	市村平子	池田好志	武田ゆうき	昭和29(二二回)	鈴木文夫	斎藤修	高橋修	鍋島滋郎	風間嘉郎	昭和28(六〇回)	西村良秀	建部三成	鈴木幸三	佐藤信一	佐藤信一	笹原信一	廣瀬和夫	川崎満夫	皆川英一	昭和26(五八回)	小椋司弥	昭和25(五七回)	今野治	宗野光一	昭和24(五六回)	昭和23(五五回)	大野忠彦	昭和21(五四回)	寒河江辰巳	4学年	小倉幸男	高橋賢造	5学年	昭和20(五三回)	伊藤鉄太郎	昭和16(四九回)	全日制
-------	-----------	------	-----------	------	-------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	------	------	------	-------	-----------	------	-----	-----	------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----------	------	-----------	-----	------	-----------	-----------	------	-----------	-------	-----	------	------	-----	-----------	-------	-----------	-----

高田嶋勝平	昭和41(七三回)	加藤徹三	酒井忠實	朝井敬一	伊藤敏弘	昭和40(七一回)	昭和39(七一回)	菅原真一	早坂善一	堀野七郎	昭和38(七〇回)	富樫幸敏	齋藤征敏	鹿内峻一	古野恒邦	昭和37(六九回)	田口清四郎	佐藤隆	恩田久秀	渡部成興	昭和36(六八回)	齊藤久樹	大寺嶋	斎原弘	菅原千益	大神祥男	昭和35(六七回)	足賀善二	加賀正洋	佐藤宏成	忠村千久	阿部喜之	斎藤雅弘	昭和34(六六回)	大川一久	渡部綾彦	保科君一	昭和33(六五回)	長井泰子	河井真	鶴田浩	早川真	早田真	昭和16(四九回)
-------	-----------	------	------	------	------	-----------	-----------	------	------	------	-----------	------	------	------	------	-----------	-------	-----	------	------	-----------	------	-----	-----	------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	-----------	------	------	------	-----------	------	-----	-----	-----	-----	-----------

大滝多津	荒木尚	昭和50(八二回)	須田一明	昭和49(八一回)	本間明道	土岐秀津	伊藤美子	吉住子夫	昭和48(八〇回)	山内仁	北風芳健	庄司七九	今野政弘	昭和47(七九回)	魚住三江	魚田芳江	奥中雅一	大本英久	黒澤秀忠	工藤俊昭	神間七八	石橋政士	伊藤俊昭	今井広志	中村七七	杉井七回	昭和45(七七回)	石橋久夫	國本典夫	藤井七回	加藤七回	森川俊直	平沢孝直	野田末隆	伊藤美樹	斎藤敏篤	吉部俊	岡部正	菊地樹	塩野篤	伊藤七五	昭和43(七五回)	五木村和	武田泰	野村美	青山一	木戸記	舌川良	昭和42(七四回)	市川政	片岡京
------	-----	-----------	------	-----------	------	------	------	------	-----------	-----	------	------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	------	-----------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----------	-----	-----

大瀧敬一	平成2(九七回)	平山聡	平成1(九六回)	佐藤千佳	樋口仁英	昭和63(九五回)	服部俊実	藤部美鈴	昭和62(九四回)	淡谷啓洋	野口尚志	昭和61(九三回)	山村志恵	山田九	昭和60(九二回)	松本正和	佐藤淳二	阿部秀吉	昭和59(九一回)	菅原光喜	田原由喜	池田俊仁	昭和58(九〇回)	斎藤康	酒井滋	昭和57(八九回)	柏谷多貴子	齋藤亨	昭和56(八八回)	本間健太郎	富池亮	小垣昌之	佐藤浩樹	昭和55(八七回)	生田千和	高野昭彦	昭和54(八六回)	篠崎順	五十崎一	五池甲	佐藤司	大金正	昭和53(八五回)	新田栄二	成田久	匹田雄	昭和52(八四回)	佐藤守尚	小野聡	昭和51(八三回)	上野一郎	大滝
------	----------	-----	----------	------	------	-----------	------	------	-----------	------	------	-----------	------	-----	-----------	------	------	------	-----------	------	------	------	-----------	-----	-----	-----------	-------	-----	-----------	-------	-----	------	------	-----------	------	------	-----------	-----	------	-----	-----	-----	-----------	------	-----	-----	-----------	------	-----	-----------	------	----

佐藤子男	昭和41(七三回)	齋藤良香	奥山志子	江崎昌子	柴田曜子	堀清一	旧職員
------	-----------	------	------	------	------	-----	-----

維持会費納入者芳名簿	
令和2年4月1日～令和3年3月31日	
件数1,450件合計金額4,400,089円	
寄付金・維持会費の区分がなかった方につきましては、3,000円を維持会費に、残りを寄付金として取り扱いさせていただきます。誠にありがとうございました。	
注：全日制において、卒年・回の次に入れた数字は、上から卒業者数・現会員数です。	

荒木博	平成10(二四回)	佐藤昌	平成9(二三回)	野尻善之	平成8(二二回)	菊地彰	佐藤輔	佐藤義	平成7(二一回)	佐藤知志	平成6(二〇回)	成瀬欽生	佐藤未奈子	平成5(一九回)	前田陽子	塩鐘子	富原奈	平成3(一九回)	富樫昌史	宮村正	荒沢
-----	-----------	-----	----------	------	----------	-----	-----	-----	----------	------	----------	------	-------	----------	------	-----	-----	----------	------	-----	----

天野鈴乃	平成29(二四回)	樋口壮	平成25(二〇回)	渡部杏太	平成22(一七回)	橋爪希美	小松二五	小松一	平松二三	庄司樹	平成18(一三回)	東海林里	鏡雄一	森祥子	平成15(一〇回)	中瀬尚	押井拓也	難波将	平成13(〇八回)	久下道	平成12(〇七回)
------	-----------	-----	-----------	------	-----------	------	------	-----	------	-----	-----------	------	-----	-----	-----------	-----	------	-----	-----------	-----	-----------

原田博司	昭和29(二五回)	昭和27(二三回)	昭和26(二二回)	成田昭	昭和25(二一回)	上野一郎	昭和20(一五回)	定時制	佐藤日向子	加藤光	成田周平	平成28(六〇回)	高岡舞	平成27(五九回)	平林遠	平成20(五二回)	門脇季	平成19(五一回)	三谷平	平成15(四七回)	富樫典	板垣千代志	平成3(二五回)	牧小静	昭和60(二九回)	昭和58(二七回)	加藤恵津	昭和57(二六回)	昭和56(二五回)	斎藤悦	小松久子	小松とみ子	佐藤悦	昭和55(二四回)	昭和54(二三回)	阿部信子	昭和53(二二回)	阿部雄平	九山正男	昭和43(一〇回)	山崎一	福山巡一	昭和41(〇八回)	長南重	佐藤忠	難波きぬ	伊藤正	昭和40(〇七回)	飯野常太郎	昭和37(〇四回)	昭和35(〇二回)
------	-----------	-----------	-----------	-----	-----------	------	-----------	-----	-------	-----	------	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------	-----	-------	----------	-----	-----------	-----------	------	-----------	-----------	-----	------	-------	-----	-----------	-----------	------	-----------	------	------	-----------	-----	------	-----------	-----	-----	------	-----	-----------	-------	-----------	-----------

石田秀式	4学年	日向倉雄	小倉幸雄	富田義賢	高橋賢造	5学年	犬飼忠昭	須藤要三男	昭和20(五三回)	大瀧直之助	昭和19(一三回)	山崎克己	昭和18(一二回)	伊藤鉄太郎	昭和17(一一回)	村越憲二	佐藤憲二	昭和16(一〇回)	齋藤駿一郎	昭和15(〇九回)	河本昭	21修	21修	昭和24(二二回)	新制中	富樫千代	平成15(四七回)	板垣典夫	昭和14(四六回)	昭和13(四五回)	昭和12(四四回)	昭和11(四三回)	昭和10(四二回)	昭和9(四一回)	昭和8(四〇回)	昭和7(三九回)	昭和6(三八回)	昭和5(三七回)	昭和4(三六回)	昭和3(三五回)	昭和2(三四回)	昭和1(三三回)	昭和0(三二回)	昭和-1(三一回)	昭和-2(三〇回)	昭和-3(二九回)	昭和-4(二八回)	昭和-5(二七回)	昭和-6(二六回)	昭和-7(二五回)	昭和-8(二四回)	昭和-9(二三回)	昭和-10(二二回)	昭和-11(二一回)	昭和-12(二〇回)	昭和-13(一九回)	昭和-14(一八回)	昭和-15(一七回)	昭和-16(一六回)	昭和-17(一五回)	昭和-18(一四回)	昭和-19(一三回)	昭和-20(一二回)	昭和-21(一一回)	昭和-22(一〇回)	昭和-23(〇九回)	昭和-24(〇八回)	昭和-25(〇七回)	昭和-26(〇六回)	昭和-27(〇五回)	昭和-28(〇四回)	昭和-29(〇三回)	昭和-30(〇二回)	昭和-31(〇一回)	昭和-32(〇〇回)	昭和-33(九九回)	昭和-34(九八回)	昭和-35(九七回)	昭和-36(九六回)	昭和-37(九五回)	昭和-38(九四回)	昭和-39(九三回)	昭和-40(九二回)	昭和-41(九一回)	昭和-42(九〇回)	昭和-43(八九回)	昭和-44(八八回)	昭和-45(八七回)	昭和-46(八六回)	昭和-47(八五回)	昭和-48(八四回)	昭和-49(八三回)	昭和-50(八二回)	昭和-51(八一回)	昭和-52(八〇回)	昭和-53(七九回)	昭和-54(七八回)	昭和-55(七七回)	昭和-56(七六回)	昭和-57(七五回)	昭和-58(七四回)	昭和-59(七三回)	昭和-60(七二回)	昭和-61(七一回)	昭和-62(七〇回)	昭和-63(六九回)	昭和-64(六八回)	昭和-65(六七回)	昭和-66(六六回)	昭和-67(六五回)	昭和-68(六四回)	昭和-69(六三回)	昭和-70(六二回)	昭和-71(六一回)	昭和-72(六〇回)	昭和-73(五九回)	昭和-74(五八回)	昭和-75(五七回)	昭和-76(五六回)	昭和-77(五四回)	昭和-78(五三回)	昭和-79(五二回)	昭和-80(五一回)	昭和-81(五〇回)	昭和-82(四九回)	昭和-83(四八回)	昭和-84(四七回)	昭和-85(四六回)	昭和-86(四五回)	昭和-87(四四回)	昭和-88(四三回)	昭和-89(四二回)	昭和-90(四一回)	昭和-91(四〇回)	昭和-92(三九回)	昭和-93(三八回)	昭和-94(三七回)	昭和-95(三六回)	昭和-96(三五回)	昭和-97(三四回)	昭和-98(三三回)	昭和-99(三二回)	昭和-100(三一回)	昭和-101(三〇回)	昭和-102(二九回)	昭和-103(二八回)	昭和-104(二七回)	昭和-105(二六回)	昭和-106(二五回)	昭和-107(二四回)	昭和-108(二三回)	昭和-109(二二回)	昭和-110(二一回)	昭和-111(二〇回)	昭和-112(一九回)	昭和-113(一八回)	昭和-114(一七回)	昭和-115(一六回)	昭和-116(一五回)	昭和-117(一四回)	昭和-118(一三回)	昭和-119(一二回)	昭和-120(一一回)	昭和-121(一〇回)	昭和-122(〇九回)	昭和-123(〇八回)	昭和-124(〇七回)	昭和-125(〇六回)	昭和-126(〇五回)	昭和-127(〇四回)	昭和-128(〇三回)	昭和-129(〇二回)	昭和-130(〇一回)	昭和-131(〇〇回)	昭和-132(九九回)	昭和-133(九八回)	昭和-134(九七回)	昭和-135(九六回)	昭和-136(九五回)	昭和-137(九四回)	昭和-138(九三回)	昭和-139(九二回)	昭和-140(九一回)	昭和-141(九〇回)	昭和-142(八九回)	昭和-143(八八回)	昭和-144(八七回)	昭和-145(八六回)	昭和-146(八五回)	昭和-147(八四回)	昭和-148(八三回)	昭和-149(八二回)	昭和-150(八一回)	昭和-151(八〇回)	昭和-152(七九回)	昭和-153(七八回)	昭和-154(七七回)	昭和-155(七六回)	昭和-156(七五回)	昭和-157(七四回)	昭和-158(七三回)	昭和-159(七二回)	昭和-160(七一回)	昭和-161(七〇回)	昭和-162(六九回)	昭和-163(六八回)	昭和-164(六七回)	昭和-165(六六回)	昭和-166(六五回)	昭和-167(六四回)	昭和-168(六三回)	昭和-169(六二回)	昭和-170(六一回)	昭和-171(六〇回)	昭和-172(五九回)	昭和-173(五八回)	昭和-174(五七回)	昭和-175(五六回)	昭和-176(五四回)	昭和-177(五三回)	昭和-178(五二回)	昭和-179(五一回)	昭和-180(五〇回)	昭和-181(四九回)	昭和-182(四八回)	昭和-183(四七回)	昭和-184(四六回)	昭和-185(四五回)	昭和-186(四四回)	昭和-187(四三回)	昭和-188(四二回)	昭和-189(四一回)	昭和-190(四〇回)	昭和-191(三九回)	昭和-192(三八回)	昭和-193(三七回)	昭和-194(三六回)	昭和-195(三五回)	昭和-196(三四回)	昭和-197(三三回)	昭和-198(三二回)	昭和-199(三一回)	昭和-200(三〇回)	昭和-201(二九回)	昭和-202(二八回)	昭和-203(二七回)	昭和-204(二六回)	昭和-205(二五回)	昭和-206(二四回)	昭和-207(二三回)	昭和-208(二二回)	昭和-209(二一回)	昭和-210(二〇回)	昭和-211(一九回)	昭和-212(一八回)	昭和-213(一七回)	昭和-214(一六回)	昭和-215(一五回)	昭和-216(一四回)	昭和-217(一三回)	昭和-218(一二回)	昭和-219(一一回)	昭和-220(一〇回)	昭和-221(〇九回)	昭和-222(〇八回)	昭和-223(〇七回)	昭和-224(〇六回)	昭和-225(〇五回)	昭和-226(〇四回)	昭和-227(〇三回)	昭和-228(〇二回)	昭和-229(〇一回)	昭和-230(〇〇回)	昭和-231(九九回)	昭和-232(九八回)	昭和-233(九七回)	昭和-234(九六回)	昭和-235(九五回)	昭和-236(九四回)	昭和-237(九三回)	昭和-238(九二回)	昭和-239(九一回)	昭和-240(九〇回)	昭和-241(八九回)	昭和-242(八八回)	昭和-243(八七回)	昭和-244(八六回)	昭和-245(八五回)	昭和-246(八四回)	昭和-247(八三回)	昭和-248(八二回)	昭和-249(八一回)	昭和-250(八〇回)	昭和-251(七九回)	昭和-252(七八回)	昭和-253(七七回)	昭和-254(七六回)	昭和-255(七五回)	昭和-256(七四回)	昭和-257(七三回)	昭和-258(七二回)	昭和-259(七一回)	昭和-260(七〇回)	昭和-261(六九回)	昭和-262(六八回)	昭和-263(六七回)	昭和-264(六六回)	昭和-265(六五回)	昭和-266(六四回)	昭和-267(六三回)	昭和-268(六二回)	昭和-269(六一回)	昭和-270(六〇回)	昭和-271(五九回)	昭和-272(五八回)	昭和-273(五七回)	昭和-274(五六回)	昭和-275(五四回)	昭和-276(五三回)	昭和-277(五二回)	昭和-278(五一回)	昭和-279(五〇回)	昭和-280(四九回)	昭和-281(四八回)	昭和-282(四七回)	昭和-283(四六回)	昭和-284(四五回)	昭和-285(四四回)	昭和-286(四三回)	昭和-287(四二回)	昭和-288(四一回)	昭和-289(四〇回)	昭和-290(三九回)	昭和-291(三八回)	昭和-292(三七回)	昭和-293(三六回)	昭和-294(三五回)	昭和-295(三四回)	昭和-296(三三回)	昭和-297(三二回)	昭和-298(三一回)	昭和-299(三〇回)	昭和-300(二九回)	昭和-301(二八回)	昭和-302(二七回)	昭和-303(二六回)	昭和-304(二五回)	昭和-305(二四回)	昭和-306(二三回)	昭和-307(二二回)	昭和-308(二一回)	昭和-309(二〇回)	昭和-310(一九回)	昭和-311(一八回)	昭和-312(一七回)	昭和-313(一六回)	昭和-314(一五回)	昭和-315(一四回)	昭和-316(一三回)	昭和-317(一二回)	昭和-318(一一回)	昭和-319(一〇回)	昭和-320(〇九回)	昭和-321(〇八回)	昭和-322(〇七回)	昭和-323(〇六回)	昭和-324(〇五回)	昭和-325(〇四回)	昭和-326(〇三回)	昭和-327(〇二回)	昭和-328(〇一回)	昭和-329(〇〇回)	昭和-330(九九回)	昭和-331(九八回)	昭和-332(九七回)	昭和-333(九六回)	昭和-334(九五回)	昭和-335(九四回)	昭和-336(九三回)	昭和-337(九二回)	昭和-338(九一回)	昭和-339(九〇回)	昭和-340(八九回)	昭和-341(八八回)	昭和-342(八七回)	昭和-343(八六回)	昭和-344(八五回)	昭和-345(八四回)	昭和-346(八三回)	昭和-347(八二回)	昭和-348(八一回)	昭和-349(八〇回)	昭和-350(七九回)	昭和-351(七八回)	昭和-352(七七回)	昭和-353(七六回)	昭和-354(七五回)	昭和-355(七四回)	昭和-356(七三回)	昭和-357(七二回)	昭和-358(七一回)	昭和-359(七〇回)	昭和-360(六九回)	昭和-361(六八回)	昭和-362(六七回)	昭和-363(六六回)	昭和-364(六五回)	昭和-365(六四回)	昭和-366(六三回)	昭和-367(六二回)	昭和-368(六一回)	昭和-369(六〇回)	昭和-370(五九回)	昭和-371(五八回)	昭和-372(五七回)	昭和-373(五六回)	昭和-374(五四回)	昭和-375(五三回)	昭和-376(五二回)	昭和-377(五一回)	昭和-378(五〇回)	昭和-379(四九回)	昭和-380(四八回)	昭和-381(四七回)	昭和-382(四六回)	昭和-383(四五回)	昭和-384(四四回)	昭和-385(四三回)	昭和-386(四二回)	昭和-387(四一回)	昭和-388(四〇回)	昭和-389(三九回)	昭和-390(三八回)	昭和-391(三七回)	昭和-392(三六回)	昭和-393(三五回)	昭和-394(三四回)	昭和-395(三三回)	昭和-396(三二回)	昭和-397(三一回)	昭和-398(三〇回)	昭和-399(二九回)	昭和-400(二八回)	昭和-401(二七回)	昭和-402(二六回)	昭和-403(二五回)	昭和-404(二四回)	昭和-405(二三回)	昭和-406(二二回)	昭和-407(二一回)	昭和-408(二〇回)	昭和-409(一九回)	昭和-410(一八回)	昭和-411(一七回)	昭和-412(一六回)	昭和-413(一五回)	昭和-414(一四回)	昭和-415(一三回)	昭和-416(一二回)	昭和-417(一一回)	昭和-418(一〇回)	昭和-419(〇九回)	昭和-420(〇八回)	昭和-421(〇七回)	昭和-422(〇六回)	昭和-423(〇五回)	昭和-424(〇四回)	昭和-425(〇三回)	昭和-426(〇二回)	昭和-427(〇一回)	昭和-428(〇〇回)	昭和-429(九九回)	昭和-430(九八回)	昭和-431(九七回)	昭和-432(九六回)	昭和-433(九五回)	昭和-434(九四回)	昭和-435(九三回)	昭和-436(九二回)	昭和-437(九一回)	昭和-438(九〇回)	昭和-439(八九回)	昭和-440(八八回)	昭和-441(八七回)	昭和-442(八六回)	昭和-443(八五回)	昭和-444(八四回)	昭和-445(八三回)	昭和-446(八二回)	昭和-447(八一回)	昭和-448(八〇回)	昭和-449(七九回)	昭和-450(七八回)	昭和-451(七七回)	昭和-452(七六回)	昭和-453(七五回)	昭和-454(七四回)	昭和-455(七三回)	昭和-456(七二回)	昭和-457(七一回)	昭和-458(七〇回)	昭和-459(六九回)	昭和-460(六八回)	昭和-461(六七回)	昭和-462(六六回)	昭和-463(六五回)	昭和-464(六四回)	昭和-465(六三回)	昭和-466(六二回)	昭和-467(六一回)	昭和-468(六〇回)	昭和-469(五九回)	昭和-470(五八回)	昭和-471(五七回)	昭和-472(五六回)	昭和-473(五四回)	昭和-474(五三回)	昭和-475(五二回)	昭和-476(五一回)	昭和-477(五〇回)	昭和-478(四九回)	昭和-479(四八回)	昭和-480(四七回)	昭和-481(四六回)	昭和-482(四五回)	昭和-483(四四回)	昭和-484(四三回)	昭和-485(四二回)	昭和-486(四一回)	昭和-487(四〇回)	昭和-488(三九回)	昭和-489(三八回)	昭和-490(三七回)	昭和-491(三六回)	昭和-492(三五回)	昭和-493(三四回)	昭和-494(三三回)	昭和-495(三二回)	昭和-496(三一回)	昭和-497(三〇回)	昭和-498(二九回)	昭和-499(二八回)	昭和-500(二七回)	昭和-501(二六回)	昭和-502(二五回)	昭和-503(二四回)	昭和-504(二三回)	昭和-505(二二回)	昭和-506(二一回)	昭和-507(二〇回)	昭和-508(一九回)	昭和-509(一八回)	昭和-510(一七回)	昭和-511(一六回)	昭和-512(一五回)	昭和-513(一四回)	昭和-514(一三回)	昭和-515(一二回)	昭和-516(一一回)	昭和-517(一〇回)	昭和-518(〇九回)	昭和-519(〇八回)	昭和-520(〇七回)	昭和-521(〇六回)	昭和-522(〇五回)	昭和-523(〇四回)	昭和-524(〇三回)	昭和-525(〇二回)	昭和-526(〇一回)	昭和-527(〇〇回)	昭和-528(九九回)	昭和-529(九八回)	昭和-530(九七回)	昭和-531(九六回)	昭和-532(九五回)	昭和-533(九四回)	昭和-534(九三回)	昭和-535(九二回)	昭和-536(九一回)	昭和-537(九〇回)	昭和-538(八九回)	昭和-539(八八回)	昭和-540(八七回)	昭和-541(八六回)	昭和-542(八五回)	昭和-543(八四回)	昭和-544(八三回)	昭和-545(八二回)	昭和-546(八一回)	昭和-547(八〇回)	昭和-548(七九回)	昭和-549(七八回)	昭和-550(七七回)	昭和-551(七六回)	昭和-552(七五回)	昭和-553(七四回)	昭和-554(七三回)	昭和-555(七二回)	昭和-556(七一回)	昭和-557(七〇回)	昭和-558(六九回)	昭和-559(六八回)	昭和-560(六七回)	昭和-561(六六回)	昭和-562(六五回)	昭和-563(六四回)	昭和-564(六三回)	昭和-565(六二回)	昭和-566(六一回)	昭和-567(六〇回)	昭和-568(五九回)	昭和-569(五八回)	昭和-570(五七回)	昭和-571(五六回)	昭和-572(五四回)	昭和-573(五三回)	昭和-574(五二回)	昭和-575(五一回)	昭和-576(五〇回)	昭和-577(四九回)	昭和-578(四八回)	昭和-579(四七回)	昭和-580(四六回)	昭和-581(四五回)	昭和-582(四四回)	昭和-583(四三回)	昭和-584(四二回)	昭和-585(四一回)	昭和-586(四〇回)	昭和-587(三九回)	昭和-588(三八回)	昭和-589(三七回)	昭和-590(三六回)	昭和-591(三五回)	昭和-592(三四回)	昭和-593(三三回)	昭和-594(三二回)	昭和-595(三一回)	昭和-596(三〇回)	昭和-597(二九回)	昭和-598(二八回)	昭和-599(二七回)	昭和-600(二六回)	昭和-601(二五回)	昭和-602(二四回)	昭和-603(二三回)	昭和-604(二二回)	昭和-605(二一回)	昭和-606(二〇回)	昭和-607(一九回)	昭和-608(一八回)	昭和-609(一七回)	昭和-610(一六回)	昭和-611(一五回)	昭和-612(一四回)	昭和-613(一三回)	昭和-614(一二回)	昭和-615(一一回)	昭和-616(一〇回)	昭和-617(〇九回)	昭和-618(〇八回)	昭和-619(〇七回)	昭和-620(〇六回)	昭和-621(〇五回)	昭和-622(〇四回)	昭和-623(〇三回)	昭和-624(〇二回)	昭和-625(〇一回)	昭和-626(〇〇回)	昭和-627(九九回)	昭和-628(九八回)	昭和-629(九七回)	昭和-630(九六回)	昭和-631(九五回)	昭和-632(九四回)	昭和-633(九三回)	昭和-634(九二回)	昭和-635(九一回)	昭和-636(九〇回)	昭和-637(八九回)	昭和-638(八八回)	昭和-639(八七回)	昭和-640(八六回)	昭和-641(八五回)	昭和-642(八四回)	昭和-643(八三回)	昭和-644(八二回)	昭和-645(八一回)	昭和-646(八〇回)	昭和-647(七九回)	昭和-648(七八回)	昭和-649(七七回)	昭和-650(七六回)	昭和-651(七五回)	昭和-652(七四回)	昭和-653(七三回)	昭和-654(七二回)	昭和-655(七一回)	昭和-656(七〇回)	昭和-657(六九回)	昭和-658(六八回)	昭和-659(六七回)	昭和-660(六六回)	昭和-661(六五回)	昭和-662(六四回)	昭和-663(六三回)	昭和-664(六二回)	昭和-665(六一回)	昭和-666(六〇回)	昭和-667(五九回)	昭和-668(五八回)	昭和-669(五七回)	昭和-670(五六回)	昭和-671(五四回)	昭和-672(五三回)	昭和-673(五二回)	昭和-674(五一回)	昭和-675(五〇回)	昭和-676(四九回)	昭和-677(四八回)	昭和-678(四七回)	昭和-679(四六回)	昭和-680(四五回)	昭和-681(四四回)	昭和-682(四三回)	昭和-683(四二回)	昭和-684(四一回)	昭和-685(四〇回)	昭和-686(三九回)	昭和-687(三八回)	昭和-688(三七回)	昭和-689(三六回)	昭和-690(三五回)	昭和-691(三四回)	昭和-692(三三回)	昭和-693(三二回)	昭和-694(三一回)	昭和-695(三〇回)	昭和-696(二九回)	昭和-697(二八回)	昭和-698(二七回)	昭和-699(二六回)	昭和-700(二五回)	昭和-701(二四回)	昭和-702(二三回)	昭和-703(二二回)	昭和-704(二一回)	昭和-705(二〇回)	昭和-706(一九回)	昭和-707(一八回)	昭和-708(一七回)	昭和-709(一六回)	昭和-710(一五回)	昭和-711(一四回)	昭和-712(一三回)	昭和-713(一二回)	昭和-714(一一回)	昭和-715(一〇回)	昭和-716(〇九回)	昭和-717(〇八回)	昭和-718(〇七回)	昭和-719(〇六回)	昭和-720(〇五回)	昭和-721(〇四回)	昭和-722(〇三回)	昭和-723(〇二回)	昭和-724(〇一回)	昭和-725(〇〇回)	昭和-726(九九回)	昭和-727(九八回)	昭和-728(九七回)	昭和-729(九六回)	昭和-730(九五回)	昭和-731(九四回)	昭和-732(九三回)	昭和-733(九二回)	昭和-734(九一回)	昭和-735(九〇回)	昭和-736(八九回)	昭和-737(八八回)	昭和-738(八七回)	昭和-739(八六回)	昭和-740(八五回)	昭和-741(八四回)	昭和-742(八三回)	昭和-743(八二回)	昭和-744(八一回)	昭和-745(八〇回)	昭和-746(七九回)	昭和-747(七八回)	昭和-748(七七回)	昭和-749(七六回)	昭和-750(七五回)	昭和-751(七四回)	昭和-752(七三回)	昭和-753(七二回)	昭和-754(七一回)	昭和-755(七〇回)	昭和-756(六九回)	昭和-757(六八回)	昭和-758(六七回)	昭和-759(六六回)	昭和-760(六五回)	昭和-761(六四回)	昭和-762(六三回)	昭和-763(六二回)	昭和-764(六一回)	昭和-765(六〇回)	昭和-766(五九回)	昭和-767(五八回)	昭和-768(五七回)	昭和-769(五六回)	昭和-770(五四回)	昭和-771(五三回)	昭和-772(五二回)	昭和-773(五一回)	昭和-774(五〇回)	昭和-775(四九回)	昭和-776(四八回)	昭和-777(四七回)	昭和-778(四六回)	昭和-779(四五回)	昭和-780(四四回)	昭和-781(四三回)	昭和-782(四二回)	昭和-783(四一回)	昭和-784(四〇回)	昭和-785(三九回)	昭和-786(三八回)	昭和-787(三七回)	昭和-788(三六回)	昭和-789(三五回)	昭和-790(三四回)	昭和-791(三三回)	昭和-792(三二回)	昭和-793(三一回)	昭和-794(三〇回)	昭和-795(二九回)	昭和-796(二八回)	昭和-797(二七回)	昭和-798(二六回)	昭和-799(二五回)	昭和-800(二四回)	昭和-801(二三回)	昭和-802(二二回)	昭和-803(二一回)	昭和-804(二〇回)	昭和-805(一九回)	昭和-806(一八回)	昭和-807(一七回)	昭和-808(一六回)	昭和-809(一五回)	昭和-810(一四回)	昭和-811(一三回)	昭和-812(一二回)	昭和-813(一一回)	昭和-814(一〇回)	昭和-815(〇九回)	昭和-816(〇八回)	昭和-817(〇七回)	昭和-818(〇六回)	昭和-819(〇五回)	昭和-820(〇四回)	昭和-821(〇三回)	昭和-822(〇二回)	昭和-823(〇一回)	昭和-824(〇〇回)	昭和-825(九九回)	昭和-826(九八回)	昭和-827(九七回)	昭和-828(九六回)	昭和-829(九五回)	昭和-830(九四回)	昭和-831(九三回)	昭和-832(九二回)	昭和-833(九一回)	昭和-834(九〇回)	昭和-835(八九回)	昭和-836(八八回)	昭和-837(八七回)	昭和-838(八六回)	昭和-839(八五回)	昭和-840(八四回)	昭和-841(八三回)	昭和-842(八二回)	昭和-843(八一回)	昭和-844(八〇回)	昭和-845(七九回)	昭和-846(七八回)	昭和-847(七七回)	昭和-848(七六回)	昭和-849(七五回)	昭和-850(七四回)	昭和-851(七三回)	昭和-852(七二回)	昭和-853(七一回)	昭和-854(七〇回)	昭和-855(六九回)	昭和-856(六八回)	昭和-857(六七回)	昭和-858(六六回)	昭和-859(六五回)	昭和-860(六四回)	昭和-861(六三回)	昭和-862(六二回)	昭和-863(六一回)	昭和-864(
------	-----	------	------	------	------	-----	------	-------	-----------	-------	-----------	------	-----------	-------	-----------	------	------	-----------	-------	-----------	-----	-----	-----	-----------	-----	------	-----------	------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	---------

金宇齋²昭和⁹志萬村氏後本三三星富佐富笹坂真齋菅佐佐岩加佐多後白青土遠上真鈴清市渡小佐田池阿八松佐佐白長藤村日椎武⁵昭和⁴福中菅本真谷富菅
津治藤³⁰村年田家藤間浦浦野榎藤塚原本嶋藤原藤藤田藤藤田藤幡柳田藤林島木野川邊池藤村田部幡田藤幡¹昭和²⁹井鉢原間嶋口田
豊淳幸²定良博登幸純英郁正裕愛和謹玲シ貞正夢正隆よ順榮敏清吉紀清成啓恭雅照玲慶壽ゆり三和恒好³昭和¹喜良三經照佑
文喜保⁹子一芳雄子子二也紘孝子香二子ケ郎子市吾子宣し保穀子修治雄一也子均治孝正輔功平子子子子子子士代義子²昭和²⁹八見郎子雄郎子弘介

鈴生菅鎌富五^十板高長佐佐確富佐羽³昭和³¹長辻佐土三佐長谷富大市今多五^十野小伊鈴工五^十阿齋坂山小富小高風瀬加佐太菅佐上林加岩脇鈴石佐星佐林安愛
木田原田榎風垣橋浜間藤水榎藤田⁴昭和³¹南藤門矢藤川塚川川野田風澤寺藤木藤風部藤本口鷹榎林橋間尾藤藤田原藤林藤間山木垣藤川木達川
正直喜只善昭和正知節尚²昭和³¹行省正公英勝玄俊誠清成良政宗重司隆宏德悌正耕良恒玲勝敬清正茂龍正淑清藤信和清淳瑛正
士司章子豊志博男明二也雄稔雄晃⁰昭和³¹雄三二子臣己清郎夫祐二子夫一昭夫清朗二治智郎武二薰美三造雄忠子美子一壽生介夫子雄子安夫郎江二一

宇手坂佐風寺後今渡水菅五保宮小³昭和³³佐鈴佐河長渡佐大岡山山山小齋板阿河鶴佐大岡伊榎早本細足池魚小吉日渡新鍵真佐²昭和³²鈴山林齋小瀬高安
治塚藤間嶋藤野部口原嵐科河北⁵昭和³³藤木藤野南部藤滝部科崎田寺藤垣部井田藤井部藤本川間谷達田住林統向部井水島藤⁶昭和³²木沢藤寺川橋居
将明俊育貫綾昌一英¹昭和³³和啓孝景君賢洋三鉄誠正嘉弘誠安泰忠武克浩伸真昌直正常健宜知隆⁷昭和³²勝順孫成庄
凱雄讓士繁男武隆明士子治彦肇夫⁶昭和³³子五昭子子一子郎郎久士明子弘郎宏勉三夫真保井弘市進子隆祥也生義浩功一子夫三

和星鈴岸三足忠中粕上本橋菅大石伊藤松阿菅齋佐阿蓮中加遠安中三佐渡清西石木阿齋佐三後佐門菅大²昭和⁹吹佐鍛大菅渡渡鈴酒佐金大渡大齋小
田野木井浦達鉢嶋谷野間本原川沢藤田田部原藤藤毛池村山藤野村矢藤部野方黒村部藤藤井平藤脇原友³昭和³⁴野藤谷川原部部木井藤内川刈藤原
善康宏哲英正文健豊政生健充静勝武要光理隆総正喜正洋宗陸宏辰成千照辰克厚喜⁴昭和³⁴佐良美雅貞一和武勝賢辰辰俊隆
二勤志樹惇郎元茂樹勝祐二雄紀子司宏子寛求巖雄雄正郎士子紀彦士司助功哉肇嗣郎郎郎代美巳司之浩⁴昭和³⁴智子洋子弘良久夫彦厚晃雄一弥六輔治

江岡阿本齋阿小恩渡²昭和³⁶中五青佐富富伊星市渡若佐佐渡櫻齋佐柏伊高工真兎佐佐齋齋大海神寺齋菅富佐大齋三齋加金近神吉小加上砂原佐澤³昭和³⁵
口部間藤部野田部⁴昭和³⁶嶋風沢藤榎榎藤川川部松藤黒辺井藤藤谷藤井藤田倉藤藤藤川江東林嶋藤原榎藤沼藤浦藤藤野藤林田寺藤野田野藤川⁵昭和³⁵
育政俊正節洋洋隆⁵昭和³⁶慶志郁悦繁征仲祐浩堅慶好伸幹淳郁ゆき邦祐鋭久鵬秀宏成興貴喜主順敬喜英捷信千修益則旌明三之助
子雄二士子子子嗣洋⁵昭和³⁶昭郎子幸子矢彦子次亘夫一一恂和吾生二夫實子夫子隆一樹史治昭真晃哉子孝三耳治男雄男勇進祥平凡曠男雄子利助

佐上齋佐³昭和³⁸成富小伊菅本松吉富伊工石鈴本齋齋鎌大大高阿木武森和伊相赤渡齋鹿阿齋古木渡³昭和³⁷齋櫻佐佐田木芳井上五大本森菅難沖阿真加後
々々林藤藤⁰昭和³⁸田榎林藤原間島田榎達藤黒木間藤藤田山川宮部田田田藤馬澤部藤内部藤野村辺¹昭和³⁷藤井藤藤口村賀上野嵐間井原波津達島山藤
洋淑悌¹昭和³⁸八幸晴美守敏周秀克雅征絹耕清幸皓守昭二良英克清經君征竣達知高清房²昭和³⁷智友清英玲重正久豊俊浩捷
雄治人治⁶昭和³⁸郎彌夫子弥英邦而夫夫子子忠勝子郎一則司男亘三郎治光司暉也子士一也行恒彦子⁷昭和³⁷恵彦垣郎信夫純彬子良吾篤市雄誠律治子三哲

木成中本松手黒加岩酒土朝稲原伊大佐伊³昭和⁴⁰長大渡井秋齋瀬酒堀本池菅俵小小²昭和³⁹工村丸丸富五^十土富後南多土長椎太伊菅菅早久齋小中堀菅土芳
根澤辻間田塚根藤城井岐井舟達館藤藤⁴昭和⁴⁰堀山部上場藤尾井間田谷池川⁷昭和³⁹藤上谷山榎嵐井榎藤澤田佐浜名田藤原原坂保藤林野井野岐賀
光孝郁修芳洋徹清忠紀正幸孝由敬壹賢¹昭和⁴⁰朝淳庄幸祐豊隆秀泰幸²昭和³⁹博幸俊次房征達広正修勝和司良直真雄寿啓捷善信俊
夫夫子實一彦司三一久子夫純義子一一司⁹昭和⁴⁰也子一明三進喜康邦晃惇二育弘男³昭和³⁹美治一鎮男夫郎雄喜規二卓明子郎郎香司一三一二夫道一寛郎

渡上難関渡高鈴新高後奥白今菅吉^十中佐皆市高戸本鈴島菊三中石栗栗半藤丸尾佐成片渡高齋田³昭和⁴¹阿石安佐神相魚土佐加氏大石南五^十阿五^十齊木
辺野波根部橋木村田藤田旗野原川嵐川藤川川橋田間木崎地矢村沢本本澤川山形藤沢岡部嶋藤畑⁵昭和⁴¹部原達藤田澤住田藤藤家戸川澤嵐部嵐藤淵
敏道郁建紀京和喜啓俊京治節泰由政正幸元敬善千正耐絢一俊健宗義京藤勝耕伊都¹昭和⁴¹修恒養重芳幸昇真俊美治信静輝直
勉郎子勉子見二子子弘郎子幸子雄丕子彦美井良一均女一教子彦子浩子仁子男明雲明子雄平治子⁰昭和⁴¹正融一雄輔夫郎久一夫一澄正子男矢江峰子

五平佐石野難秋佐丸佐伊佐荒石齋工山佐吉岡荒庄村大小佐塩³昭和⁴³富青杉指川青青真佐工齋佐秋菅佐今⁵昭和⁴³五水佐谷武木坂滝本富新竹野木佐坂舌³昭和⁴²
嵐川藤向沢波保藤田藤藤藤川向藤藤本藤成部田司田川竹藤野⁹昭和⁴³榎山浦田上島木田藤藤藤藤藤原藤村嵐谷木口田淵田口間榎宮島村戸藤本津⁴昭和⁴²
秀秀美富士久孝孝末勘節益英甲次賢敏茂雄幸新俊⁵昭和⁴³俊泰幸重時儀宗慎純恵まさつ篤有由敬孝順博和美秀一⁹昭和⁴²
逸紀保榮隆夫良喜明宣志二子隆楨勉生一子樹二明明三一郎和²昭和⁴³二子夫郎隆子博充潔雄明一裕子一子妙や夫子徹美一志努子進樹子子子誠良

柴蘆石³昭和⁴⁵風沼波三難富國三井齋大三齋佐渡村難工小能漆坂藤阿嶺安石山高阿八國遠藤滝佐秋加関安井佐³昭和⁴⁴加菊成森伊伊阿進吉青中播松大佐
田野橋⁴昭和⁴⁵間澤部浦波榎井浦上藤川浦藤藤部田波藤池谷山東崎部田達橋本橋部幡井藤本口木野藤田上藤⁴昭和⁴⁴隆地沢藤藤部藤川柳島本浦澤藤
善吉政²昭和⁴⁵麗長由信重美久京憲慶幸慶真知久洋政美清言和和和り京正喜英典博正明ひろ幹¹昭和⁴⁴隆正美俊良正明和裕孝繁宣
光和士⁴昭和⁴⁵寛子昭和郎保次子康輝雄一一己志伸子幸良行一行博朗典学子子和志夫隆行志孝造夫子篤明夫²昭和⁴⁴介敏子直篤一正仁一子枝子一雄雄

佐牧魚魚齋赤太田本齋酒小奥本大黑板安工明伊齋本寺百神²昭和⁴⁶森菅佐吉横堀大石五^十高今眞渡小梅三布齋石本門庄今伊磯杉今山阿犬酒小中五杉
藤野住住藤松田中間藤井林田間川澤垣藤藤賀藤藤間島瀬林⁹昭和⁴⁶原藤田屋場黒嵐嵐樹野田辺山津浦川藤川間脇司野藤部山井田部塚井寺村嵐山
靖秀政三和則芳光英好雅英久信秀徳る英久清忠⁷昭和⁴⁶博誠修芳和敏俊陽千昭眞さと準與久修誠道秀ひ俊恵俊雅由邦景伊広
法夫弘子久子忍昭俊豊一雄明一子馨一敏芳み男徹明昭夫⁹昭和⁴⁶子二一子與誠彦豊章明子保良史子士一子隆一司雄昭み昭篤子治明子貴興光良夫志

ご寄付、維持会費の納入 ありがとうございました。

南高祭 2021 7/21(水)



編集委員

委員長 菅原ゆり
委員 佐藤 守
高樹陽子
石塚俊朗
須田まき
北風秀明
佐藤英成

様々な移動や行動に制限を受けることが多くなるとつれて、比較的近場を探索することが増えました。来年は酒井家庄内入部400年の節目の年に当たります。この機会に生まれ育った地域の歴史をいま一度おさらいしてみようと郷土史を紐解くことが多くなった今日この頃です。

菅原ゆり

さて、私たちの母校もまた大きな歴史上の転換点を迎えています。73年の歴史をもつ通信制課程の今年度末での閉課程、そしていよいよ令和6年度開校に迫った中高一貫校への移行。諸行事への対応、そして学校内のコロナ対策で多忙の中、全日制・通信制両教頭先生のご協力により、今号で大きく取り上げることができ、感謝申し上げます。

さて、私たちの母校もまた大きな歴史上の転換点を迎えています。73年の歴史をもつ通信制課程の今年度末での閉課程、そしていよいよ令和6年度開校に迫った中高一貫校への移行。諸行事への対応、そして学校内のコロナ対策で多忙の中、全日制・通信制両教頭先生のご協力により、今号で大きく取り上げることができ、感謝申し上げます。

編集後記

同窓会だより第62号をお届けします。

日本国内において最初の新型コロナウイルスウィルス感染者発生から2年近くが経過し、ようやく感染者減少の兆しがみえようとしています。日本のみならず全世界が未曾有の事態に襲われたこの2年。私たちは、日常生活様式など分野でこれまでの当然と考えられていた認識や生活習慣、社会全体の価値観が劇的に変化していく大きなパラダイムシフトを経験することとなりました。コロナ禍中であつて1年遅れ、ほとんど無観客という特殊ななかで開催された東京オリンピック、パラリンピックも、いざ始まれば、日本人選手の活躍、競技自体の魅力について熱中してしまう自分がいました。後世どんな「レガシー」を残したと評価されていくのか、刮目したいものです。